Scan System

使用説明書 機能編

ボタンをクリックすると各項目にスキップします

スキャナ機能(本体)を使いこなす

スキャンした画像をパソコンへ送信する

スキャンした画像をEメールで送信する

TWAINでスキャンする

スキャンする画像に文書情報を追加する

スキャンした画像をパソコンへ送信する(PC送信)

パソコン内に送信先のフォルダを作成して、スキャナから直接フォルダ内にスキャンデータを送信します。下記にパソコン内に送信するまでの流れを簡単に説明します。詳しい設定方法や操作方法は参照ページをご覧ください。参照ページをクリックすると各ページにスキップします。

基本設定をします

PC送信を行う場合、付属のユーティリティを使ってネットワークに関する設定や送信先、送信元のアドレスなどの登録をする必要があります。

Address Editor

P3-28

アドレス帳 for Scanner

P3-73

Webブラウザ による設定・登録

P2-1



送信先のフォルダを作成します

Scanner File Utility

P3-4



スキャンデータを送信します

スキャナ本体から送信先などを指定してスキャンデータを送信します。

※ネットワークに関する設定や送信先、送信元の登録はスキャナ本体でもできます。スキャナ本体で設定する場合は、使用説明書セットアップ編をご覧ください。

スキャンした画像をEメールで送信する(Eメール送信)

登録した E メールアドレスへスキャンデータを添付して送信します。下記に E メールで送信するまでの流れを簡単に説明します。詳しい設定方法や操作方法は参照ページをご覧ください。参照ページをクリックすると各ページにスキップします。

基本設定をします

Eメール送信を行う場合、付属のユーティリティを使ってネットワークに関する設定や送信先、送信元のアドレスなどの登録をする必要があります。

Address Editor

P3-28

アドレス帳 for Scanner

P3-73

Webブラウザ による設定・登録

P2-1



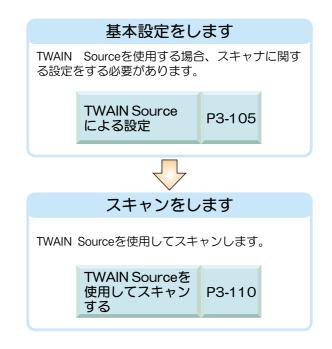
スキャンデータを送信します

スキャナ本体から送信先などを指定してスキャンデータを送信します。

※ネットワークに関する設定や送信先、送信元の登録はスキャナ本体でもできます。スキャナ本体で 設定する場合は、使用説明書セットアップ編をご覧ください。

TWAIN でスキャンする (TWAIN)

スキャナで読み込んだ画像イメージを TWAIN 対応アプリケーションに取り込むことができます。下記に TWAIN でスキャンするまでの流れを簡単に説明します。詳しい設定方法や操作方法は参照ページをご覧く ださい。参照ページをクリックすると各ページにスキップします。



スキャンする画像に文書情報を追加する

スキャンした画像を PC 上で検索する為の文書情報(キーワード)の設定や、属性情報として CSV ファイルを作成することができます。このように文書情報を画像に追加し、それをファイルの検索項目にすることで、膨大なデータの中から簡単に目的の画像を見つけ出せるようになります。

※ KM-C830/830D をご使用の方はこの機能を使用できません。

基本設定をします

データベース連携を行う場合、DB Assistantを使って、各種設定、情報の登録をする必要があります。 次に、DB Assistantを本体スキャナと接続させるため、インストールしたPCのIPアドレス、またはホスト名を、Webブラウザを使用して入力するか、本体操作部から入力します。

> DB Assistant による設定・登録

P3-121

Webブラウザ による設定

P2-1



送信先の設定をします

Scanner File Utility による設定

P3-4

※ネットワークに関する設定や 送信先、送信元の登録はスキャ ナ本体でもできます。スキャ ナ本体で設定する場合は、使 用説明書セットアップ編をご 覧ください。



スキャンデータに文書情報を追加します

スキャナ本体から送信先などを指定してスキャン データを送信します。

※文書情報(キーワード)を追加し、その項目でファイル検索をかける場合、本製品バンドルソフト KM-DocumentBinderをご活用

ください。

登録商標について

- ・Microsoft 、Windows 、Windows NT および Internet Explorer は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・Windows Me および Windows XP は、Microsoft Corporation の商標です。
- ・Ethernet はゼロックス社の登録商標です。
- ・IBM ならびに IBM PC/AT は、米国 IBM International Business Machines Corporation の商標です。
- ・Adobe、Acrobat は、アドビシステムズ社の登録商標です。
- ・KM-DocumentBinderは、京セラミタ株式会社の登録商標です。

その他、本使用説明書中に記載されている会社名や製品名は、各社の商標または登録商標です。 なお、本文中には TM および®は明記しておりません。

	スキャンした画像をパソコンへ送信する(PC 送信)	i
	スキャンした画像を E メールで送信する(E メール送信)	ii
	TWAIN でスキャンする(TWAIN)	iii
	スキャンする画像に文書情報を追加する	iv
	登録商標について	
	目次	vi
第1章	ネットワークスキャナシステムの導入	
	ネットワークスキャナシステム構成	
	CD-ROM の使いかた	1-3
	CD-ROM の構成	1-4
	スキャナユーティリティ	1-5
	オンラインマニュアルについて	1-7

	(本体)を使いこなす	
基本設定	<u>-</u>	1-13
(1)	原稿サイズ選択	1-13
(2)	原稿タイプ	1-14
	送信サイズ選択	
(4)	読み込み解像度	1-15
(5)	原稿セット向き	1-16
	ファイル形式	
, ,	読み込み濃度	
(2)	原稿の画質	1-17
	JPEG 画質	
(4)	カラーモード	1-18
(5)	白黒選択	1-18

用機能設定	1-19
(1)枠消し	1-19
(2)連続読み込み	1-19
(3)原稿サイズ混載	1-20
(4) ページ毎出力	1-20
(5) フルスキャン	1-21
(6) センター移動	1-22
(7)ファイル名入力	1-23
圧縮サイズ超過時の非圧縮"の設定	1-24
連続送信"の設定	1-26
「ファイル名入力」優先"の設定	1-29
送信元(ユーザ)選択の省略"の設定	1-32

第2章	Web ブラウザからの設定	2-1
	Web ページ機能	2-2
	目的別インデックス	2-3
	注意事項	2-4
	Web ブラウザの動作が不安定なとき	2-4
	"インターネットサイトXXXXXを開けません"など、	
	接続できないことを表す表示が出たとき	2-4
	"ページを表示できません。"と表示が出たとき	2-4
	"XXX アクセスが禁止されています"と表示が出たとき	2-4
	Web ページ機能の使用方法	2-5
	画面構成	2-7
	トップフレーム	2-8
	メニューフレーム	2-9
	メインフレーム	2-10

システム設定	2-11
設定条件	2-11
システム基本設定	2-12
スキャナ初期設定	2-21
送信元リスト	2-23
リセット	2-28
PC 送信設定	2-29
送信先リスト	2-29
E メール送信設定	2-36
E メール基本設定	2-36
送信先リスト	2-39

第3章	付属ユーティリティ	3-1
	付属ユーティリティのご紹介	3-2
	Scanner File Utility	3-4
	Scanner File Utility について	3-4
	(1)事前準備	3-4
	(2)操作の流れ	
	動作環境	3-6
	インストールとアンインストール	3-7
	(1) Scanner File Utility のインストール	3-7
	(2) Scanner File Utility のアンインストール	3-9
	スタートダイアログ	3-10
	(1)スタートダイアログの表示方法	
	(2) スタートダイアログについて	3-11
	ファイル保存先フォルダ設定	3-13
	(1) 設定ダイアログについて	3-13
	(2)保存先フォルダの新規設定	3-16
	(3)既存保存先フォルダの設定変更	3-20
	(4) 既存保存先フォルダの指定解除	3-23

フ	ァイル保存機能	3-24
	(1)操作手順の概要	3-24
	(2) ファイル名について	3-25
	(3) 画像データについて	3-26
	(4) ハードディスク書込エラーが発生したとき	3-26
H.	ービスモードについて(Windows2000, XP のみ)	3-27

Address Editor	3-28
Address Editor について	3-28
推奨動作環境	3-28
インストールとアンインストール	3-29
(1) Address Editor のインストール	3-29
(2) Address Editor のアンインストール	3-30
Address Editorの起動	3-31
編集データ選択画面	3-33
(1)スキャナアドレス設定	3-34
スキャナ検索	3-36
パスワードの入力(スキャナ接続時)	3-38
システム設定	3-39
(1)システム基本設定	3-39
(2)スキャナ初期設定	3-48
(3)送信元リスト	3-50
(4) 送信元アドレス登録(編集)	3-52

E メール送信設定	3-54
(1)E メール基本設定	3-54
(2) E メール送信先リスト	3-56
(3)送信先の編集(E メール送信)	3-58
(4) 送信先グループ登録 / 編集	3-59
PC 送信設定	3-61
(1)送信先リスト	
(2)送信先の編集(PC 送信)	3-63
(3) 送信先グループ登録 / 編集	3-64
ツールバー	
アドレスデータのインポート	3-67
(1)送信元リスト、送信先リスト(E メール、PC)へ、	
アドレスデータのインポート	3-67
(2)フィールドの設定	3-69
(3) インポート内容の確認	3-70
バージョン情報	3-72

アドレス帳 for Scanner	3-73
アドレス帳 for Scanner について	3-73
動作環境	3-74
インストールとアンインストール	3-75
(1) アドレス帳 for Scanner のインストール	3-75
(2) アドレス帳 for Scanner のアンインストール	3-76
スタートダイアログ	3-77
(1)スタートダイアログの表示方法	3-77
(2) スタートダイアログについて	3-78
送信先リストの設定	3-79
(1) "アドレス帳 for Scanner" ダイアログについて	3-79
(2)E メール送信先リスト	3-81
(3)E メール送信先の登録と編集	3-83
(4) E メール送信先グループの登録と編集	3-85
(5) E メール送信先グループへの送信先の追加	3-87
(6)PC 送信先リスト	3-89
(7) 送信先 PC の登録と編集	3-91
(8)送信先 PC グループの登録と編集	3-93
(9) 送信先 PC グループパスワードの登録と変更	3-95
(10)送信先 PC グループへの送信先 PC の追加	3-96

アドレスデータファイルのインポート	3-98
(1) アドレス帳 for Scanner のインポート	3-98
(2) csv ファイルのインポート	3-100

TWAIN Source	3-105
TWAIN Source について	3-105
動作環境	3-106
TWAIN Source のインストール	3-107
TWAIN Source のアンインストール	3-108
画像データについて	3-109
画像の取り込みかた	3-110
(1) PC 側からスキャンをはじめる場合	3-110
(2) 本体側からスキャンをはじめる場合	
メインダイアログについて	3-111
スキャナ IP アドレスの変更	3-115
部門管理設定	3-117
カラープロファイルについて	3-118
スキャナと接続できないとき	3-119
画像最大サイズについて	3-120

補足

DB Assistant	3-121
DB Assistant について	3-121
(1)事前準備	
(2)操作の流れ	3-123
動作環境	3-124
インストールとアンインストール	3-125
(1) DB Assistant のインストール	3-125
(2) DB Assistant のアンインストール	3-126
操作画面について	3-127
(1)設定ダイアログの表示方法	3-127
(2) スタートダイアログについて	3-128
(3) 設定ダイアログについて	3-129
KM-DB アシスト機能の設定方法	3-130
補足 "送信元(ユーザ)名称により制限する"の設定方法	3-138
エラーコード	Δ_1

第1章

ネットワークスキャナシステムの導入

ネットワークスキャナシステム構成

本ネットワークスキャナシステムは、ネットワーク環境において、複数の PC がスキャナ本体を共有できるようにしたシステムです。同梱物として、スキャナインタフェースカードと CD-ROM (Kyocera Mita Software Library,Kyocera Mita Document Library) および、TWAIN 対応アプリケーション CD-ROM が用意されております。スキャナインタフェースカードはスキャナ本体に装着し、CD-ROM は PC 側で使用します。

TWAIN 対応アプリケーションの使用方法については、TWAIN 対応アプリケーションの CD-ROM に収録されているユーザーズガイドを参照してください。

このオンラインマニュアルでは、主に Kyocera Mita Software Library CD-ROM に収められているスキャナユーティリティ (Scanner File Utility, Address Editor, アドレス帳 for Scanner, TWAIN Source, DB Assistant) の機能や Web ブラウザからのスキャナの設定方法について説明しています。

スキャナ本体の操作方法については、Kyocera Mita Document Library CD-ROM に収められているネットワークスキャナくセットアップ編>の使用説明書を参照ください。

Kyocera Mita Software Library CD-ROMには、5つのスキャナ用ユーティリティ(Scanner File Utility/Address Editor/アドレス帳 for Scanner/TWAIN Source/DB Assistant)が収められています。

本ネットワークスキャナシステムの使用にあたっては、CD-ROM(Kyocera Mita Software Library)内の付属ユーティリティを PC 側にインストールする必要があります。

以下に CD-ROM のメインメニューが表示されるまでの流れを説明します。

- ※ご使用の機種によって画面は多少異なります。
 - 1. Windows を起動させてください。
 - ※他に起動中のアプリケーションがあれば、それらをすべて終了させてください。
- 2. 付属品の Kyocera Mita Software Library CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入してください。使用許 諾についての説明が表示されます。契約条件に同意する場合は、[許諾]をクリックしてください。メインメニュー画面が表示されます。
 - ※CD-ROM をセットしても以下の画面が表示されない場合は、CD-ROM を開き、ウインドウにある [setup.exe]をダブルクリックしてください。



CD-ROM の構成



メインメニューには、CD-ROM を使って行うことのできる内容が選択可能な項目として表示されています。

スキャナユーティリティ各項目の概要は次のとおりです。項目の選択はクリックで行います。

スキャナユーティリティ

Address Editor

Address Editor を PC にインストールします。このソフトウェアを使うと、スキャナのアドレス帳(共通アドレス帳)の登録、編集などを行うことができます。管理者がアドレス帳のメンテナンスなどを行う場合に使用します。Address Editor に対応したスキャナが複数存在している場合は、それらすべてのスキャナに送信先リストを設定することなども容易に行えます。また、ネットワーク設定や機能の初期設定もできます。任意の PC(1 台)にこのソフトウェアをインストールしてください。(P3-28 参照)

Scanner File Utility

Scanner File Utility を PC にインストールします。このソフトウェアを使うと、スキャナで読み込んだ画像イメージを、ネットワークを介して、PC 側の指定したフォルダに圧縮したファイルとして保存することができるようになります。保存先の PC が複数である場合は、各 PC にこのソフトウェアをインストールしてください。(P3-4 参照)

●アドレス帳 for Scanner

アドレス帳 for ScannerをPCにインストールします。このソフトウェアを使うと、スキャナのユーザが自分専用の送信先リストを作成、利用することが可能になります。スキャナ本体の操作部で「個人アドレス帳」を選択すると、そのときのユーザが利用できるアドレス帳 for Scannerが参照され、送信先の選択が行えます。各PCにこのソフトウェアをインストールしてください。(P3-73 参照)

DB Assistant

DB Assistant を PC にインストールします。このソフトウェアを使うと、スキャンした画像データの検索に利用可能な文書情報としてキーワードを追加させることができます。Scanner File Utility で指定したフォルダを DB Assistant で登録し、スキャナ本体の操作部で「データベース連携」を選択すると PC とリンクし、指定フォルダ近辺の階層表示を操作部上で確認することができます。任意の PC(1台)にこのソフトウェアをインストールしてください。(P3-121参照)

TWAIN Source

TWAIN Source を PC にインストールします。 TWAIN Source が PC にインストールされると、 TWAIN 対応 アプリケーションからネットワークを介してスキャナを呼び出し、読み取った画像をそのアプリケーションですぐに使用できます。使用する PC が複数である場合は、各 PC にこのソフトウェアをインストールしてください。

(P3-105参照)

オンラインマニュアルについて

Kyocera Mita Document Library CD-ROM のオンラインマニュアルは PDF ファイル形式で作られており、内容を見るためには Adobe Acrobat Reader4.05J以上が必要となります。 したがって、オンラインマニュアルを見る前に、まず Adobe Acrobat Readerを PC にインストールしてください。

重 要

Adobe Acrobat Reader の取り扱いについては、アドビ社の使用約款に準じます。

本体での、スキャナ機能を説明します。お好みの設定に合わせ、スキャンしてください。 各機種、本体機能設定までの手順は、ネットワークスキャナ使用説明書セットアップ編をご覧下さい。

基本設定

原稿サイズ選択	原稿サイズ(読み込む領域)を選択します。	P1-13
原稿タイプ	ブック(見開き)原稿や、両面に印字されている原稿を 片面ずつ分割して読み込むときに設定します。	P1-14
送信サイズ選択	送信サイズ(送信する画像サイズ)を選択します。	P1-15
読み込み解像度	原稿を読み取る細かさを指定します。	P1-15
原稿セット向き	原稿セット後、原稿上辺の位置を設定します。	P1-16
ファイル形式	画像ファイルのフォーマットを選択します。	P1-16

画質設定

読み込み濃度	スキャン画像の濃度を調節します。	P1-17
原稿の画質	原稿の種類に合せて的確な画像処理を行う時に設定します。	P1-17
JPEG画質	JPEG圧縮レベルを設定します。	P1-17
カラーモード	カラーモードを選択します。	P1-18
白黒選択	白黒のイメージを選択します。	P1-18

応用機能設定

枠消し	本、雑誌などの見開き原稿を読み込むときなど、まわりに できた黒い影を消すときに設定します。	P1-19
連続読み込み	原稿を読み込んだ後に、継続して新しい原稿を読み込む ときに設定します。	P1-19
原稿サイズ混載	サイズの異なる原稿でも一括して読み込むときに設定します。	P1-20
ページ毎出力	ー度に読み込んだ原稿を1ページごとにファイルを作成する ときに設定します。	P1-20
フルスキャン	指定された原稿サイズ全ての領域を画像としてスキャンします。	P1-21
センター移動	画像が送信サイズの中央になるようにスキャンします。	P1-22
ファイル名入力	ファイル名を指定します。	P1-23

応用機能設定

圧縮サイズ超過時の 非圧縮	画像を読み込み時に圧縮をかけるか設定します。	P1-24
連続送信	連続してスキャンするか設定します。	P1-26
「ファイル名入力」 優先	ファイル名入力を優先するか設定します。	P1-29
送信元(ユーザ)選択の省略	送信元(ユーザ)を事前に選択します。	P1-32

補足 機能説明マークについて

送信方法によって、使用できる機能と、そうでない機能があります。使用できる機能には以下のような、各送信方法のマークがついています。

各送信方法機能有効マーク
PC 送信時 PC
E-Mail 送信時 E-Mail
TWAIN(スキャン待ち設定時)TWAIN
モノクロ/カラー機の場合にのみ使用できる機能に付くマーク
モノクロ機専用
カラー機(カラー· 白黒時)専用

基本設定

(1) 原稿サイズ選択

PC

E-Mail

TWAIN

選択できる原稿サイズ(読み取る領域)

・自動, A3, Computer Form (11"×15"), B4, A4, B5, A5, B6 ※モノクロ機は11"×8¹/₂"も選択できます。

※デフォルト値:自動

◎原稿サイズ入力(カスタムサイズ)

原稿台左奥コーナーを基準に原稿をセットし、読み取り範囲を設定できます。



設定範囲......縦:50~297mm

横:50~432mm 50~420mm(KM-C830/C830Dの場合)

※原稿送り装置に原稿をセットする場合は、サイズ入力できません。

(2) 原稿タイプ PC E-Mail TWAIN

ブック (見開き) 原稿や、両面に印字されている原稿を片面ずつ分割して読み込むことができます。モノクロ機はとじ方が選択できます。

片面原稿......原稿の片面を読み込みます。

両面原稿………………両面原稿の表裏を別々のページデータに分けて読み込みます。

- ・左/右とじ
- ・上とじ
- ※上とじ(裏表で上下が逆になっている原稿の場合)は、原稿の裏面を、180 度回転します。
- ※両面分割は原稿送り装置が必要です。
- ※原稿セット時、上辺の位置を確認してください。
- 見開き原稿……………ブック(見開き)原稿を左右分割して読み込みします。
 - ・綴じ方向選択:原稿となるブックの閉じ方向を選択します。例えば、[左とじ]は左側のページを読み込んだ後、右側のページ読み込みます。
 - ・右とじ
 - ・左とじ
- ※見開き原稿の場合、上辺を奥に向けてセットしてください。
- ※見開き原稿を分割できる原稿サイズはA3、A4R、A5R、B4、B5R、送信サイズはA4、A5、B5、B6です。



〔3〕送信サイズ選択 <u>PC</u>	JI	Ĺ
----------------------	----	---

TWAIN

選択できる送信サイズ(送信する画像のサイズ)

- ・自動、A3、B4、A4、B5、A5、B6、11"×15"
- ※モノクロ機は 11" × 8¹/₂" も選択できます。
- ※デフォルト値:自動
- ※原稿サイズをカスタム設定したときは、選択できません。

(4) 読み込み解像度

PC

E-Mail

E-Mail

TWAIN

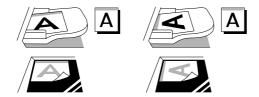
原稿を読み取る細かさを指定できます。数値が高いほど、きめが細かくなりますが、その分だけ、ファイルサイズ (ファイル容量) 大きくなり、読み取り時間も長くなります。

- · 600dpi, 400dpi, 300dpi, 200dpi
- ※一般的にパソコンの画面に表示する画像は 96dpi(Windows の場合)、プリンタで印刷するには、 $150 \sim 600$ dpi が目安となります。
- ※画像を拡大したり、印刷する場合は、高い解像度で読み取る必要があります。

(5) 原稿セット向き PC E-Mail TWAIN

セット後、原稿上辺の位置を設定します。

・奥、左



- ※原稿セット向きを設定されていない場合は、正しくスキャンできない場合があります。
- ※ KM-C830/C830D にこの設定はありません。
- ※ファイル形式が JPEG の場合、一度に読み込みこんだ原稿は 1 ページごとにファイルを作成し、送信(ページ毎出力のみ)します。

画質設定

(1) 読み込み濃度 PC E-Mail TWAIN スキャン画像の濃度を調整します。お好みの濃度に調整してください。(本体のコピー機能に準拠しています。) ・画質モード切り替え式
(2) 原稿の画質 PC E-Mail TWAIN 白黒 原稿の種類に合せて的確な画像処理を行うため、設定します。 写真などを読み取るときに選択します。 写真などを読み取るときに選択します。 ※E-Mail 送信時は使用不可 文字+写真 画像と文字を含んだ原稿を読み取るときに選択します。 文字 文字が中心の原稿を読み取るときに選択します。 OCR OCR アプリケーションソフト(文字をテキストデータに変換するソフトウェア)用の画像データを作成するときに選択します。
(3) JPEG 画質 PC E-Mail カラー JPEG 画質を設定します。 1

高画質になるほど、ファイル容量は大きくなります。ファイル形式を JPEG 選択時に設定します。

(4) カラーモード	PC	E-Mail	TWAIN	カラー

カラーモードを選択します。

- ・フルカラーカラーで読み込みます。
- ・白黒白黒で読み込みます。※1
- ※1 送信方法選択時に(白黒)のついた機能以外を選択した場合は、グレースケールの読み込みを行います。
- (5) 白黒選択 PC E-Mail TWAIN カラー

白黒2階調を選択すると、白黒2階調イメージの色数が白と黒の2色になり、カラーや白黒グレーと比べファイルサイズが小さくなります。白黒グレーはイメージのカラー情報が破棄されますが、明暗は保持します。

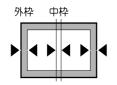
※この機能はタッチパネル対応機で使用できます。

応用機能設定

(1) 枠消し PC E-Mail TWAIN

本、雑誌などの見開き原稿を読み込む時などに、まわりにできた黒い影を消すときに使用します。

外枠



※枠消しの範囲は指定できます。

(2) 連続読み込み PC E-Mail TWAIN

原稿を読み込んだ後に、継続して新しい原稿を読み込むことができます。この設定を行うと、原稿の読み 込みが終わった後に継続して読み込みを行うかどうかの選択画面が表示されます。

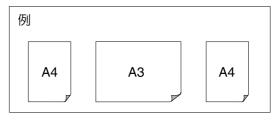
※TWIANでの画像読み取り時には、"スキャン待ち"を選択した場合に、この設定が使用できます。

(3) 原稿サイズ混載 (PC) (

E-Mail TWAIN

原稿送り装置からの連続読み込み(連続読み込み参照)時、サイズの異なる原稿でも一括して、読み込む ことができます。読み込み可能なサイズは以下の組み合わせです。

- A3/A4
- B4/B5



(4) ページ毎出力

PC

E-Mail

一度に読み込みんだ原稿を1ページごとにファイルを作成し、送信します。 [設定なし]なら、複数原稿を読み込んだ場合、1つのファイルにします。

(5) フルスキャン PC E-Mail TWAIN

フルスキャンを"設定する"にすると、指定された原稿サイズ全ての領域を画像としてスキャンします。 "設定しない"では一回り小さくスキャンします。サイズいっぱいに書かれた原稿、写真などをスキャンするときは、[設定する]に設定してください。スキャナ初期設定から設定すると、スキャンする全ての原稿をフルスキャンで送信します。

- ※デフォルト値:設定しない
- ※原稿サイズ入力でカスタムサイズに設定すると、常にフルスキャンで送信します。
- ※フルスキャンを設定しても、わずかに余白がつきます。
- ※この機能はタッチパネル対応機で使用できます。

スキャン 領域

フルスキャン"設定しない"

スキャン 領域

フルスキャン"設定する"

(6) センター移動 PC E-Mail TWAIN

画像が送信サイズの中央になるようスキャンされます。原稿サイズを拡大(もしくは縮小)する時に、縦横の比率が異なる送信サイズを指定した場合、余白をどのようにつけるかを設定できます。初期設定から設定すると、スキャンする全ての原稿をセンター移動で送信します。

- ※デフォルト値:設定しない
- ※"センター移動"は、KM-3035/4035/4530/5035/5530/6330/7530/C850/C850D/C2630/C2630Dで設定できます。
- ◎ 例 原稿サイズと縦横の比率が異なる送信サイズを指定した場合

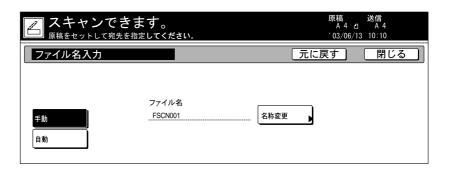


センター移動"設定しない"

センター移動"設定する"

(7) ファイル名入力 PC E-Mail

ファイル名を入力することができます。ここの設定が [自動] であれば、ファイル名を自動的に設定しますが、任意にファイル名を変更したい場合は [手動] を選択してから [名称変更] を押して、ファイル名を変更してください。



- ※スキャナ初期設定、[「ファイル名入力」優先]の設定が[設定する]の場合(P1-29参照)、 [ファイル名入力]ボタンの位置が[応用]タブから[基本]タブの中に変更されます。(かわりに [原稿タイプ]が[応用]タブに中に変更されます)また、この場合、[ファイル名入力]を押すと 上記画面が表示されずに、ファイル名入力画面になります。
- ※この機能はタッチパネル対応機で使用できます。

"圧縮サイズ超過時の非圧縮"の設定

本スキャナでは画像を読み込み時に MMR 形式で圧縮をかけます。その際、写真、グレースケール画像などの網点画像(印刷物の写真をよく見ると、点の集合で濃淡を表しています。あれを網点といいます。)を圧縮すると、圧縮をする前より、データ容量が大きくなる場合があります。このような場合に、圧縮をするかどうかの設定を行うことができます。

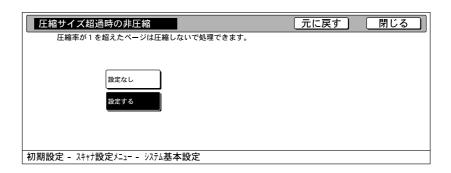
※ "圧縮サイズ超過時の非圧縮"は、KM-3035/4035/4530/5035/5530/6330/7530/C850/C850D/C2630/C2630Dで設定できます。

く設定方法 >

- 1.本機の初期設定キーを押してスキャナの[システム基本設定]画面を表示させます。[システム基本設定]画面を表示させるまでの手順はセットアップマニュアルのP2-2 "(3)本機タッチパネルからの設定"をご参照ください。
- 2.▲▼で [圧縮サイズ超過時の非圧縮] を選択し、 [設定値変更] を押してください。設定変更画面が表示されます。



3. 圧縮をかける前よりデータが大きくなる(圧縮率が1を超えた)ページを、圧縮をかけないようにする場合には、[設定する]、超えても圧縮をかける場合は、[設定なし]を選択してください。設定が終了したら、[閉じる]を押してください。



※デフォルト値:設定する

※アプリケーションソフトの中では画像データの圧縮と非圧縮の混在を認めないものがあり、この設定を有効にするとうまく動作しないことがあります。そのようなソフトをご使用の場合は、"設定なし"に変更してください。

"連続送信"の設定

PC

E-Mail

連続送信を設定すると、送信を行っても、前に送信した設定事項の、送信元(ユーザ)、宛先、各種設定が、そのままの状態でスキャン設定画面([スキャンできます]が表示されている画面)に戻りますので、一度行った設定を、再び行う必要がなくなります。

- ※ PC 送信時は、Scanner File Utility の [ファイルの上書き保存を許可] にチェックした状態(P3-13 参照) で、ファイルを送信すると、同じ名称のファイルは上書きされます。連続送信時にファイル名を入力して送信する場合は、注意してください。
- ※連続送信を設定していて、作業を終了するときは、必ずスキャン設定画面の [作業中止] ボタンを押してください。 [作業中止] ボタンを押さないと、スキャン設定画面のまま、その他のコピー、プリント、FAX などの機能が使用できないことがあります。また、使用者以外のほかの方に使用される可能性がありますので十分にお気をつけください。
- ※この機能はタッチパネル対応機で使用できます。

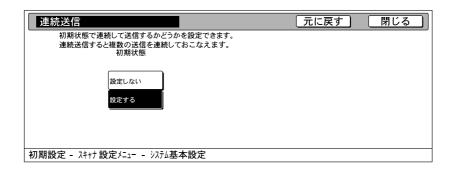
〈設定方法〉(初期設定)

- 1.本機の初期設定キーを押してスキャナの[システム基本設定]画面を表示させます。[システム基本設定]画面を表示させるまでの手順はセットアップマニュアルのP2-2 "(3)本機タッチパネルからの設定"をご参照ください。
- 2.▲▼で「連続送信」を選択し、「設定値変更」を押してください。設定変更画面が表示されます。



Page 1-26

3. 初期状態で、連続して送信を行う設定にする場合には[設定する]、同じ設定で再度送信を行わない設定にする場合には、「設定しない]を選択してください。設定が終了したら、「閉じる]を押してください。



※デフォルト値:設定する

<設定方法 > (送信時の単送信と連続送信の切り替え)

1.本機でスキャン設定画面([スキャンできます]が表示されている画面)を表示させます。ここでは PC 送信の画像読み込みを例に説明します。スキャン設定画面を表示させるまでの手順はセットアップ マニュアルの P3-1 "(3) PC 送信、E メール送信の画像読み込み方法"をご参照ください。

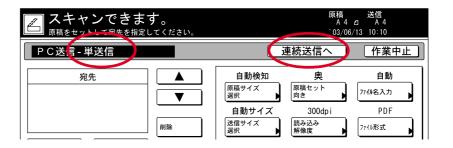


Page 1-27

2. 手順1の画面では PC 送信の表示の左に [連続送信] と表示されています。この設定では連続して送信します。1度の送信で終了する単送信を行う場合は、画面左の [単送信へ] を押します。



3.PC 送信の表示の左に [単送信] と表示されています。この設定では1度の送信で終了する単送信で送信します。再び、連続して送信を行う場合は、 [連続送信へ] を押してください。



"「ファイル名入力」優先"の設定

PC) (E-Mail

スキャン設定画面([スキャンできます]が表示されている画面)で[ファイル名入力]ボタンの位置が [応用]タブから[基本]タブの中に変更されます。(かわりに[原稿タイプ]が[応用]タブに中に変 更されます)ファイル名の変更を頻繁に行う場合は、この設定を行うと便利です。

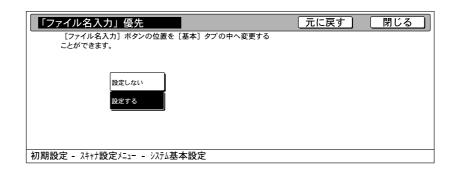
※[「ファイル名入力」優先]を設定すると、スキャン設定画面の[ファイル名入力]を選択したとき、 [自動]、[手動]切り替え設定画面が省略され、すぐに文字入力画面が表示されます。(P1-23参照) ※この機能はタッチパネル対応機で使用できます。

< 設定方法 > (初期設定)

- 1.本機の初期設定キーを押してスキャナの[システム基本設定]画面を表示させます。[システム基本設定]画面を表示させるまでの手順はセットアップマニュアルのP2-2 "(3)本機タッチパネルからの設定"をご参照ください。
- 2.▲▼で[「ファイル名入力」優先]を選択し、[設定値変更]を押してください。設定変更画面が表示されます。



3. [「ファイル名入力」優先]を設定する場合は[設定する]、設定しない場合は、[設定しない]を選択してください。設定が終了したら、[閉じる]を押してください。



※デフォルト値:設定する

<設定例 > (「ファイル名入力」優先]を設定している場合)

1.本機でスキャン設定画面([スキャンできます]が表示されている画面)を表示させます。ここでは PC 送信の画像読み込みを例に説明します。スキャン設定画面を表示させるまでの手順はセットアップマニュアルの P3-1 "(3) PC 送信、E メール送信の画像読み込み方法"をご参照ください。



2. 初期設定で「ファイル名入力」優先]を設定している場合は、基本タブ上に [ファイル名入力] が表示されます。ファイル名を変更する場合は、 [ファイル名入力] を押してください。ファイル名入力画面となります。



- ※[「ファイル名入力」優先]を設定している場合は、[自動]、[手動]切り替え画面が省略されます。
- 3.ファイル名入力後、[入力終了]を押してください。再び、スキャン設定画面に戻ります。



Page 1-31

"送信元(ユーザ)選択の省略"の設定

PC E-Mail

本スキャナを使用するには、まず、送信元(ユーザ)を選択する操作を行いますが、"送信元(ユーザ)選択の省略"の設定を行うと、送信元(ユーザ)をユーザ番号 001 に固定して、選択操作を省略することができます。スキャナを使用される方が限定されていてる場合、操作を省略したい場合などにご利用ください。

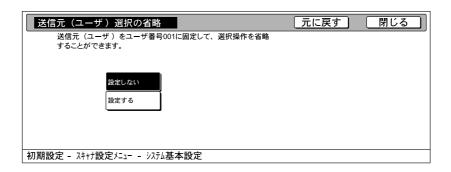
- ※ "送信元(ユーザ)選択の省略"の設定をして、ユーザ番号 001 にユーザ登録を行っていないとエラーメッセージが表示され、スキャンできません。
- ※この機能はタッチパネル対応機で使用できます。

<設定方法>(初期設定)

- 1.本機の初期設定キーを押してスキャナの[システム基本設定]画面を表示させます。[システム基本設定]画面を表示させるまでの手順はセットアップマニュアルのP2-2 "(3)本機タッチパネルからの設定"をご参照ください。
- 2.▲▼で[送信元(ユーザ)選択の省略]を選択し、[設定値変更]を押してください。設定変更画面が表示されます。



3. [送信元(ユーザ)選択の省略]を設定する場合は「設定する]、設定しない場合は、「設定なし」を選択してください。設定が終了したら、「閉じる」を押してください。



※デフォルト値:設定しない

第2章

Web ブラウザからの設定

Web ページ機能

Web ページ機能は、スキャナ機能に関する管理を Web ブラウザソフトを使って行えるようにしたものです。ネットワーク設定の変更 / スキャナ初期設定 /PC 送信 / メール送信に関する設定などを、ネットワークを介して簡便に行うことができます。

重要 ご使用の前に

- ・Web ブラウザソフトがインストールされている必要があります。Web ブラウザソフトは、Netscape Navigator 4.0 以降または Internet Explorer4.0 以降を推奨いたします。
- ・Web ページ機能の使用にあたっては、あらかじめスキャナインタフェースカードの IP アドレスが設定されている必要があります。(P2-13参照)
- ・PC から文字入力の時に、正しく入力しないとスキャナが正常に動作しない場合があります。本マニュアルまたは、Web ページに半角、全角入力などの文字制限が記載されていますので、よくご確認の上、入力を行ってください。

目的別インデックス

下表に Web ページ機能で設定できる主な項目を目的別にまとめました。設定操作を行う際のインデックスとしてお役立てください。

ネットワークに関す る設定をする。	スキャナインタフェースカードのネットワークに関する設定に ついて説明しています。	P2-13
管理者用のパスワー ドを設定する。	Webページ機能を使う際の管理パスワードについて説明しています。	P2-15
スキャナの画像読み 込みの初期設定を 変更する。	原稿種別や解像度など、読み取り画像設定について設定してい ます。	P2-21
送信者アドレスを 登録する。	スキャナからPCへメール送信する際の送信者側のアドレスの 登録方法について説明しています。	P2-23
送信先PCを登録 する。	スキャナから画像を送る際に、相手先となるPCの登録について 説明しています。	P2-29
送信先アドレスを 登録する。	スキャナからPCへメール送信する際の送信先のアドレスの 登録方法について説明しています。	P2-39

注意事項

Web ブラウザの動作が不安定なとき

Web ブラウザからスキャナインタフェースカードやユーティリティについての設定を行う際に、スキャナ本体のネットワーク設定が正しいにもかかわらず Web ブラウザ上での設定がスキャナ本体とうまくつながらない場合などは、スキャナ本体の電源を入れ直してください。スキャナインタフェースカードの再起動が行われます。再起動には時間がかかりますので少々お待ちください。

"インターネットサイトXXXXXXを開けません"など、接続できないことを表す表示が出たとき

次の点を確認してください。

- ・スキャナ本体が初期画面("コピーできます"の画面)になっていない。
 - →初期画面でない場合は、初期画面(コピーできますの画面)に戻してください。

"ページを表示できません。"と表示が出たとき

次の点を確認してください。

- ・スキャナ本体の起動、再起動が完了していない。
 - →しばらく待ってから、再度接続を行ってください。

"XXX アクセスが禁止されています"と表示が出たとき

次の点を確認してください。

- スキャナ本体が操作中である。
 - →スキャナ本体の操作が終了し、スキャナ機能選択画面に戻ったことを確認してから再度接続してくだ さい。

Web ページ機能の使用方法

- 1. Web ブラウザソフトを起動してください。
- 2. アドレス入力欄にスキャナインタフェースカードの IP アドレスか、ホスト名を入力してください。
- 3. キーボードの Enter キーを押してください。
- 4. Web ページ機能のトップページが表示されます。 ※機種によって画面は多少異なります。



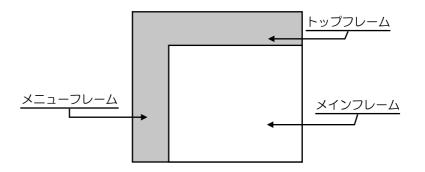
Web ページ機能の使用方法

5. パスワードを設定している場合、ページ左のシステム基本設定をクリックすると、以下のダイアログが表示されます。パスワードを入力し、OK ボタンをクリックしてください。

ネットワークバ	スワードの入力		? ×
90	ユーザー名とパスワードを	入力してください。	
₹ <mark>J</mark>	ቻ ረト:	192.168.161.129	
	領域		
	ユーザー名(U)		
	パスワード(<u>P</u>)		
	□ このパスワードを保存す	する(<u>S</u>)	
		OK キャンセノ	V

トップページは3つのフレームから構成されています。

・トップフレームスキャナインタフェースカードの IP アドレス/スキャナステータスを表示します。(P2-8 参照)



- ・メニューフレームスキャナインタフェースカードまたはスキャナについて、設定したい項目 の選択を行うことができます。(P2-9 参照)

トップフレーム

トップフレームには、スキャナインタフェースカードの IP アドレスとスキャナステータスを表示します。

<IP アドレス >

・スキャナインタフェースカードが保持しているアドレスを表示します。

< スキャナステータス >

- ・レディ状態であれば、スキャナステータス には "● OK" が表示されます。
- ・レディ状態でないときは、"● OTHER"が表示されます。
- ※OTHER表示時のスキャナの状態は、"スキャナステータス情報"で確認できます。
- ※スキャナステータスは、1分ごとに更新されます。

メニューフレーム

メニューフレームでは、スキャナインタフェースカードまたはスキャナについて、設定したい項目の選択を行うことができます。

※メニューフレームの各項目は、続けて設定することができます。ただし、設定途中に再び同じ項目を選択するとそれまでに設定しようとしていた内容は破棄されます。

Home

"Home" を選択すると、ブラウザでスキャナインタフェースカードにアクセスしたときのトップページに戻ることができます。

●システム設定

"システム設定"は、スキャナインタフェースカードに関する設定などを行うためのもので、次の3項目で構成されています。

- ・システム基本設定 ネットワークに関する設定を行うことができます。
- ・スキャナ初期設定 スキャナの主な機能の初期値を設定することができます。
- ・リセットスキャナインタフェースカードのリセットまたは、工場出荷時の状態に戻します。

●Eメール送信設定

"Eメール送信設定"は、メール送信に必要な基本設定を行うためのものです。

- ・Eメール基本設定メール送信を行う際の基本的事項に関する設定を行うことができます。
- ・送信先リスト メール送信先のアドレス登録などを行うことができます。

●PC 送信設定

"PC 送信設定"では、保存先 PC にファイル送信を行うための各種設定を行うことができます。

・送信先リスト 保存先 PC の登録などを行うことができます。

メインフレーム

スキャナのシステム情報が表示されます。また、言語切替もここで行うことができます。 ※起動時には、初期値が表示されています。

●スキャナステータス情報

トップページのスキャナステータスが"● OTHER"に変わった際に、"表示更新"ボタンをクリックすると本体がどの様な状態であるかがここに表示されます。また、スキャナステータスが"● OK"の場合は、"スキャン可能"が表示されます。

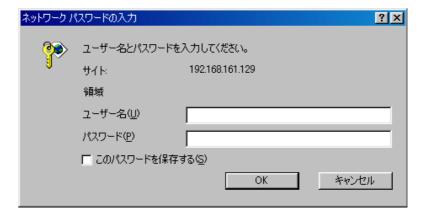
< スキャナステータス > スキャナ本体から取得可能なステータス項目として次の 6 項目があります。 スキャン可能 / スキャナ使用中 / DP (原稿送り装置) 部紙詰まり / システムエラー / 処理中 / パワーセーブモード

- Ethernet アドレス スキャナインタフェースカードの MAC アドレスが表示されます。
- ■スキャナファームスキャナのファームウェアバージョンが表示されます。
- ●ネットワークファームスキャナインタフェースカードのファームウェアバージョンが表示されます。
- ●カラープロファイル(カラースキャナのみ)本機対応のカラープロファイルのファイル名が表示されます。
- ●表示言語 Web ページで表示する言語を切り替えることができます。

システム設定では、スキャナインタフェースカードの設定を行います。 各項目の設定は、スキャナがスキャン可能状態の時にだけ、その設定を変更することができます。

設定条件

スキャナインタフェースカードの設定およびスキャナ関連の設定を行うためには、管理者のパスワードの入力が必要です。



・パスワードは、"システム基本設定"の"管理者"で変更することが可能です。 出荷時には、スキャナインタフェースカードのパスワードは設定されていません。

システム基本設定

ここでは、スキャナインタフェースカードの基本設定 [セットアップ] の "ネットワーク"、 "管理者" の設定を行います。

- ※ "SMTP 認証"を設定する場合は、[SMTP 認証]をクリックしてください。(P2-17参照)
- ※ "IPフィルタ"を設定する場合は、「IPフィルタ]をクリックしてください。(P2-19参照)

重要 設定を行った後は、必ず"登録"ボタンをクリックしてください。



Page 2-12

[セットアップ]-[ネットワーク]

- ●ホスト名 スキャナのホスト名を32文字以内(半角英数字)で入力してください。
- ●IPアドレス スキャナインタフェースカードの IP アドレスを"XXX.XXX.XXX.XXX"の形式で入力してください。
- ●サブネットマスク スキャナインタフェースカードのサブネットマスクを"XXX.XXX.XXX.XXX"の形式で入力してください。
- ●デフォルトゲートウェイ スキャナインタフェースカードのデフォルトゲートウェイを"XXX.XXX.XXX.XXX"の形式で入力してく ださい。
- DHCP/BOOTP

 DHCP と BOOTP を "有効" と、 "無効" のどちらにするかの設定を行います。初期値は"有効"に設定されています。
- ●RARP RARP を "有効" と、 "無効" のどちらにするかの設定を行います。初期値は "有効" に設定されています。
- ARP/PING ARP/PINGを "有効"と、 "無効" のどちらにするかの設定を行います。初期値は"有効"に設定されています。

● DNS サーバ(プライマリ)

DNS サーバが設置された環境で、ホスト名を使ってデータ送信を行う場合には、この欄にプライマリの DNS サーバの IP アドレスを"XXX.XXX.XXX.XXX"の形式で入力してください。

● DNS サーバ(セカンダリ)

この欄には、セカンダリの DNS サーバの IP アドレスを"XXX.XXX.XXX"の形式で入力してください。

● DNS ドメイン名

ドメイン名を、32文字以内(半角英数字)で入力してください。

● WINS サーバ(プライマリ)

コンピュータ名から IPアドレスの解決にWINS (Windows Internet Name Service) を使用する場合には、この欄にプライマリの WINS サーバの IPアドレスを "XXX.XXX.XXX.XXX" 形式で入力してください。

● WINS サーバ(セカンダリ)

この欄にセカンダリの WINS サーバの IP アドレスを "XXX.XXX.XXX" 形式で入力してください。

●スコープ ID

この欄にスコープ ID を入力してください。

● SMTP サーバ名

この欄に SMTP サーバの IP アドレスを "XXX.XXX.XXX" 形式で入力するか、ホスト名を入力してください。

● SMTP ポート番号

この欄に SMTP ポート番号を入力してください。初期設定のポート番号は 25 です。

●登録ボタン

"登録"ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がスキャナインタフェースカード側に反映されます。

●リセットボタン

"リセット"ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。

●データベースアシスタント

DB Assistant をインストールしている PC の IP アドレス、またはホスト名を 32 文字以内(半角英数字)で入力してください。

注意 "登録"ボタンをクリックせずに他画面へ移動した場合、途中まで設定されている内容はスキャナインタフェースカード側に反映されずに破棄されます。

[セットアップ]-[管理者]

●Eメールアドレス

管理者のEメールアドレスを入力してください。スキャナ状態のLogファイル、エラーレポート等をこのアドレス先にEメールとして送信されます。

●パスワード変更

パスワードの変更をする場合は"する"をしない場合は"しない"を選択してください。

●古いパスワード

すでにパスワードを設定している場合はここに古いパスワードを入力してください。

※ここで設定するパスワードは、スキャナ本体のネットワーク画面に入る際に必要となる 4 桁の管理者 パスワードとはリンクしていません。

●新しいパスワード

パスワードを変更する場合は、ここに新しいパスワードを8文字以内で入力してください。

※ここで設定するパスワードは、スキャナ本体のネットワーク画面に入る際に必要となる 4 桁の管理者 パスワードとはリンクしていません。

●新しいパスワードの確認入力

"新しいパスワード"欄で入力した文字列をもう一度入力してください。

※ここでの入力は、パスワードの変更を行う際、新たにパスワードとして設定する文字列に入力誤りがないかを確認するためのものです。

●登録

"新しいパスワード"と"新しいパスワードの確認入力"の入力が完了した時点で"登録"ボタンをクリックすると新たに入力したパスワードがスキャナインタフェースカード側で設定されます。

※ "登録"ボタンをクリックしたとき、"新しいパスワードの確認入力"欄への入力内容が"管理者パスワード変更"欄で入力した文字列と一致しなかったり、あるいは空欄状態のときは、エラー画面が表示されます。

重要 パスワードの設定を行った後は、必ず"登録"ボタンをクリックしてください。

●ファームウェアアップデート

ファームウェアを管理者に許可無く更新することは、セキュリティに対する深刻な脅威になりかねません。不適当なファームウェアにより、管理者以外の誰かが無意識にあるいは悪意を持ってファームウェアを更新した場合、ネットワークが動作不能になる可能性があります。ここでは、ファームウェアが無許可で更新されないようにセキュリティ対策が設けられています。 ファームウェアのアップデートを許可する場合は、"有効"、許可しない場合は、"無効"を選択します。

[SMTP認証]

SMTP ページの認証入力項目は、SMTP サーバが E メールを送信するための認証データをサーバに送信するための設定です。SMTP サーバが ISP など遠隔地にある場合は、E メールの送信に認証が必要になります。

重要 SMTP サーバが送信地と同じ場所になるときでも、その SMTP サーバがオープンリレーメール の中継点にされるのを防止するために、認証が必須になる場合があります。

認証データをSMTPサーバに渡すには、以下の手順で行います。

- ※ここで SMTP 認証(管理者用)を設定しておくと、各ユーザ(40 名まで設定可能)に SMTP 認証の設定を行うことができます。(P2-26 参照)
 - 1. スキャナの IP アドレスを Web ブラウザに入力して、スキャナのホームページを表示します。
 - 2. 画面左列のメニューから[システム基本設定]を選択します。
 - 3. [SMTP 認証]を選択します。



Page 2-17

- 4. [認証] を [有効] にします。
- 5. SMTP 認証に使用する [ログインアカウント名] を入力します。
- 6. 新たにパスワードを入力する、または変更する場合は、[パスワード変更]を[する]にします。 ※パスワードを変更する必要がない場合は、「しない]にして、手順9に進みます。
- 7. 新しいパスワードを [新しいパスワード] 欄に入力します。
- 8. 新しいパスワードの確認を行います。 [新しいパスワードの確認入力] 欄に手順 6 で入力したパスワードをもう一度入力します。
- 9. "登録" ボタンをクリックします。



Page 2-18

[IP フィルタ]

本スキャナには、各種プロトコル別にアクセス可能な IP アドレスを限定するフィルタ機能が用意されており、許可されたアドレスだけが特定のプロトコルを利用できます。例えば IP フィルタを HTTP に設定すれば、特定のアドレスだけがスキャナのホームページおよび Address Editor にアクセスできます。

以下のプロトコル事に、IPアドレスの有効範囲を4つまでフィルタリングできます。

HTTP / Address Editor、TELNET、AdminManager、TWAIN、NETWORK FAX(FAX対応機種のみ)

IP フィルタは、Address Editor や、本スキャナのホームページから設定できます。ここでは Web ブラウザを使用した場合の手順を説明します。

- 1. スキャナの IP アドレスを Web ブラウザに入力して、スキャナのホームページを表示します。
- 2. 画面左列のメニューから[システム基本設定]を選択します。
- 3. [IP フィルタ]を選択します。



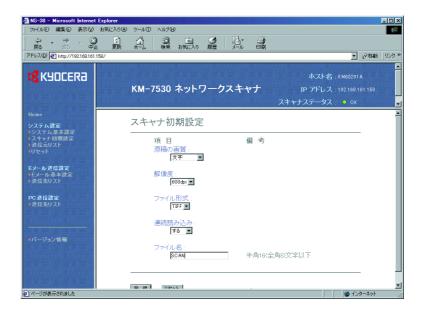
Page 2-19

- 4. プロトコル名の左側のチェックボックスにチェックを入れて、プロトコルのフィルタリングを有効にします。
- 5. 有効にする IP アドレス範囲を 4 つまで入力できます。単一の IP アドレスを有効にする場合は、 [開始アドレス] にのみ入力します。
- 6. "登録" ボタンをクリックします。
- ※下図に示した設定では、IPアドレス 10.10.10.1 ~ 50 と IPアドレス 10.10.10.125 のみが本スキャナのホームページ (HTTP) と Address Editor にアクセスできます。

IPフィルタ	[セットアップ] [SMTP認証] [IPフィルタ]
✓ HTTP / Address Editor	
有効範囲 (IP アドレス) 開始アドレス 1 [10.1010.1 2 [10.1010.125] 3 [4]	終了アドレス 10.10.10.50
□ TELNET 有効範囲 (IP アドレス)	
開始アドレス 1 2	終了アドレス
3 [

スキャナ初期設定

スキャナの画像読み込みに関する初期設定を行うことができます。 また、読み込み条件や保存時のファイル名などの設定を行うこともできます。



●原稿種類(モノクロ機または、白黒選択時のみ) スキャンする原稿の種類に合わせて、次の4つのモードを選択することができます。 写真 / 文字 / 文字 + 写真 / OCR

●解像度

原稿読取時の解像度を次の4つの中から選ぶことができます。 600dpi / 400dpi / 300dpi / 200dpi

●ファイル形式

スキャン画像を保存する際のファイル形式を指定します。 TIFF / PDF /JPEG(カラー機のみ)

● JPEG 画質(カラー機のみ) JPEG 画質を設定します。 1 (低) / 2 / 3 (標準) / 4 / 5 (高)

●カラー出力タイプ(カラー機のみ)カラー出力タイプを設定します。RGB / sRGB

●連続読み込み

継続して原稿を読み込むか選択します。 する / しない

●ファイル名

スキャン画像保存時の名称を設定します。 ファイル名は、16文字以内(半角英数字)で入力してください。

送信元リスト

ネットワークスキャナ機能(Eメール送信、PC 送信)を使用できる送信元(ユーザ)リストの設定を行います。

- ●送信元リスト
 - この項目をクリックすると送信元(ユーザ)リストが表示されます。40件(No.001 \sim No.020、No.021 \sim No.40)までの送信元(ユーザ)の登録・確認・編集を行うことができます。
 - ※各番号(No.) に"登録名称"が入力されている場合は、テキストボックス内に名称が表示されます。



設定を行いたい送信元(ユーザ)の番号をクリックすると"送信元(ユーザ)登録"画面が開き、送信元(ユーザ)に関する登録や編集を行うことができます。

重要 送信元(ユーザ)の登録や編集を行うときは、必ず最後に"登録"ボタンをクリックしてください。

●送信元(ユーザ)登録



・登録番号

"送信元リスト"で選択した番号がここに表示されています。送信元登録テーブルの何番を登録・修正しているかを確認できるように表示されているもので、変更等はできません。

・フリガナ

登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは16文字以内(半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。

· 登録名称

古いパスワード

登録名称を入力する欄です。ここで設定した名称は、送信元登録テーブルおよび本体操作部に表示されます。

※登録名称は全角8文字以内、半角16文字以内(半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。

- ・E メールアドレス 送信元(ユーザ)の E メールアドレスは、64 文字以内(半角英数字)で入力してください。
- ・個人アドレス帳 PC アドレス 使用する個人アドレス帳 (付属ユーティリティ アドレス帳 for Scanner) のインストールされている PC のアドレスを入力します。IP アドレスを "XXX.XXX.XXX" 形式で入力するか、ホスト名を入力してください。
- ・保存先番号 PC 送信での送信先 PC の保存先番号を設定します。 ※設定できる保存先番号は 001 ~ 100 です。
- ・署名 Eメール送信時の署名データを入力します。全角 128 文字以内、半角 256 文字以内(半角英数字、半角 カタカナ)で入力してください。
- ・パスワード変更 パスワード変更をする場合は"する"、しない場合は"しない"を選択してください。
- すでにパスワードを設定している場合はここに古いパスワードを入力してください。 ※ここで設定するパスワードは、スキャナ本体のネットワーク画面に入る際に必要となる4桁の管理者 パスワードとはリンクしていません。

・新しいパスワード

パスワードを変更する場合は、ここに新しいパスワードを8文字以内で入力してください。

- ※ここで設定するパスワードは、スキャナ本体のネットワーク画面に入る際に必要となる 4 桁の管理者 パスワードとはリンクしていません。
- ・新しいパスワードの確認入力

"新しいパスワード"欄で入力した文字列をもう一度入力してください。

- ※ここでの入力は、パスワードの変更を行う際、新たにパスワードとして設定する文字列に入力誤りが ないかを確認するためのものです。
- ・SMTP 認証
 - ユーザの SMTP 認証に使用する「ログインアカウント名」を入力します。
 - ※各ユーザに SMTP 認証を設定する場合は、事前にシステム基本設定で SMTP 認証を設定する必要があります。(P2-17 参照)
- ・パスワード変更

ユーザの SMTP 認証パスワードの変更をする場合は"する"、しない場合は"しない"を選択してください。

・新しいパスワード

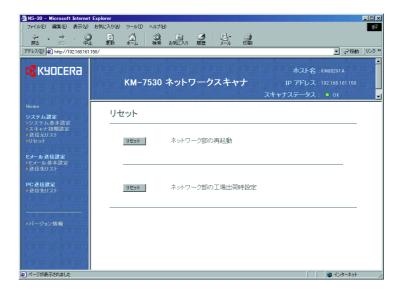
ユーザの SMTP 認証に使用するパスワードを変更する場合は、ここに新しいパスワードを 8 文字以内で入力してください。

- ・新しいパスワードの確認入力
 - "新しいパスワード"欄で入力した文字列をもう一度入力してください。
 - ※ここでの入力は、パスワードの変更を行う際、新たにパスワードとして設定する文字列に入力誤りが ないかを確認するためのものです。

- 登録ボタン
 - "登録"をクリックすると、設定内容がスキャナに反映されます。 クリックしないでページを移動した場合は、入力した情報は破棄されます。
- ・リセットボタン "リセット"ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。
- ・登録削除ボタン "登録削除"ボタンをクリックすると、表示されている送信元(ユーザ)が削除されます。

リセット

各リセットボタンを押すと、確認ダイアログが表示され、OK を押すと、リセットまたは、工場出荷時の 状態に戻します。



- → ネットワーク部の再起動 スキャナを再起動します。
- ●ネットワーク部の工場出荷時設定以前の設定をすべて初期化し、工場出荷時の状態に戻します。

Page 2-28

スキャナを使うと、スキャナで読み取った画像データをあらかじめ登録した PC の指定したフォルダに送信することができます。

ここでは、その場合の送信先 PC の登録について説明しています。

※Scanner File Utility の機能については、P3-4~P3-22 をご参照ください。

送信先リスト

●送信先リスト (PC)

この項目をクリックすると、送信先 PC の登録画面が表示されます。100 件($No.001 \sim No.100$)までの送信先 PC の登録・確認・編集を行うことができます。

※各番号の"登録名称"が設定されている場合は、テキストボックス内に表示されます。



設定を行いたい送信先 PC の番号をクリックすると、"送信先 PC"画面が開きます。

No.

登録番号が表示されます。登録・編集を行いたい番号をクリックすると、"送信先登録(PC)"画面が表示します。

・種別 登録方法がシングル登録かグループ登録かを表示します。



]: グループ登録されている場合に表示します。

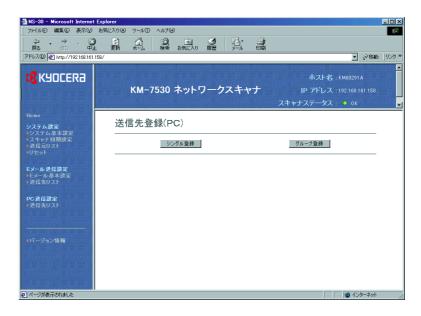
: シングル登録されている場合に表示します。

・登録名称 設定されている登録名称を表示します。

要 送信先 PC の登録や編集を行うときは、必ず最後に"登録"ボタンをクリックしてください。

●送信先登録 (PC)

"シングル登録"で登録するか"グループ登録"で登録するかを選択します。



"シングル登録"または"グループ登録"をクリックすると登録・編集画面が表示されます。

●送信先登録 (PC) [シングル登録]

登録名称/送信先 PC / 保存先番号の登録編集をすることができます。

項 目 登録番号: 041	備 考
フリガナ:	半角16文字以下
登録名称:	半角16(全角8)文字以下
送信先PC:	IP アドレスまたは ホスト名: 半角32文字以下
保存先番号: 001	(1-100)
録 リセット 登録削除	

・登録番号

"送信先リスト"で選択した番号がここに表示されています。送信先 PC 登録テーブルの何番を登録・修正しているかを確認できるよう表示されているもので、変更等はできません。

・フリガナ

登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは16文字以内(半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。

・登録名称

登録名称を入力する欄です。ここで設定した名称は、送信先 PC 登録テーブルおよび本体操作部に表示されます。

※登録名称は全角8文字以内、半角16文字以内(半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。

・送信先 PC

送信先 PC の IP アドレスまたはホスト名を入力する欄です。両方を入力した場合は、IP アドレスが優先されます。

※ホスト名は32文字以内(半角英数字)で入力してください。

・保存先番号

1台のPCに対し、複数の保存先を指定する場合には、保存先番号を入力してください。

%1 台の PC に対して最大 100 件まで保存先(フォルダ)を指定することができます。(保存先番号は、1 \sim 100 が使用可能です)

登録ボタン

"登録"ボタンをクリックすると、設定内容がスキャナに反映されます。 クリックしない場合は、入力した情報は破棄されます。

・リセットボタン

"リセット"ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。

登録削除ボタン

"登録削除"ボタンをクリックすると、表示されている送信先が削除されます。

- ●送信先登録(PC)[グループ登録]送信先(PC)グループの登録編集をすることができます。
- 重要 送信先登録 (PC) [シングル登録]を登録しないと、 送信先登録 (PC) [グループ登録]はできません。



グループに登録したい送信先を選んで、No. の横のチェックボックスをクリックしてください。グループ の登録名称やパスワードを入力して"登録"ボタンをクリックすると送信先グループに登録されます。

- ・フリガナ 登録名称のフリガナを 16 文字以内(半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。
- ・登録名称 登録名称を入力する欄です。ここで設定した名称は、送信先 PC 登録テーブルおよび本体操作部に表示 されます。

- ※登録名称は全角8文字以内、半角16文字以内(半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。
- ・グループパスワード変更 グループパスワードを入力する欄です。 パスワードの変更をする場合は"する"を、しない場合は"しない"を選択してください。
- ・新しいパスワード パスワードを変更する場合は、ここに新しいパスワードを8桁以内(数字)で入力してください。
- "新しいパスワード"欄で入力した文字列をもう一度入力してください。
 ※ここでの入力は、パスワードの変更を行う際、新たにパスワードとして設定する文字列に入力誤りが
- ・登録ボタン "登録"ボタンをクリックすると、設定内容がスキャナに反映されます。 クリックしないでページを移動した場合は、入力した情報は破棄されます。

新しいパスワードの確認入力

ないかを確認するためのものです。

- ・リセットボタン "リセット"ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。
- ・登録削除ボタン "登録削除"ボタンをクリックすると、表示されている送信元(ユーザ)が削除されます。

スキャンした画像を PC ヘメール送信する際の各種設定について説明しています。

Eメール基本設定

ここでは、メール送信時に基本となる部分の設定を行います。

重要 設定を行った後は、"登録"ボタンをクリックしてください。



Page 2-36

●項目

- 1. 送信ドメイン設定 送信制限無し / 送信許可ドメイン名 / 送信制限ドメイン名の中から送信ドメインを選択します。
 - ※ "送信制限なし"を選択するとドメインによる E メール送信制限を行わず、ドメイン登録の内容は 無視されます。
 - ※ "送信許可ドメイン名"を選択すると登録ドメインと一致するドメインを持つ宛先だけに E メール 送信を許可されます。
 - ※ "送信制限ドメイン名"を選択すると登録ドメインと一致するドメインを持つ宛先だけに E メール 送信を許可しません。
- 2. ドメインデータドメインデータを入力します。
 - ※各ドメインは改行区切り、500文字以内(半角英数字)で入力します。
 - ※ドメインは最大 10 ドメインまで登録できます。
 - ※アスタリスク(*)を使用すると一括指定をすることができます。(例) * .co.jp

●データサイズ

E メール送信 1 件あたりの画像データサイズの上限を設定します。 制限なし/高(2048KB)/中(1024KB)/低(512KB)

●件名

メールの件名を32文字以内(半角英数字、半角カタカナ)または全角入力16文字以内で入力してください。

●本文

メールの本文は、この欄に入力してください。メールの本文には、500文字以内(半角英数字、半角カタカナ)または全角入力32文字以内の文章を登録することができます。

●文字コードセット

ここでは、メールに記述している文字の"コードセット"を指定します。

"コードセット"は、北米(US-ASCII) / 日本(シフトJIS) / 西ヨーロッパ(ISO-8859-1) の中から選択することができます。

※初期値は、北米(US-ASCII)が設定されています。メール配信先のPC環境に合わせてコードセットしてください。配信先が日本語環境であれば、日本(シフト JIS) を選択します。

●登録ボタン

"登録"ボタンをクリックすると、設定内容がスキャナに反映されます。 クリックしないでページを移動した場合は、入力した情報は破棄されます。

●リセットボタン

"リセット"ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。

送信先リスト

●送信先リスト

この項目をクリックすると、送信先登録画面が表示され、100件(No.001~No.100)までの送信先アドレスの登録・確認・編集を行うことができます。

※各番号の"登録名称"が設定されている場合は、テキストボックス内に表示されます。



送信先アドレスの設定を行いたい番号をクリックすると、"送信先登録"画面が開きます。

· No.

登録番号が表示されます。登録・編集を行いたい番号をクリックすると、"送信先登録(Eメール)" 画面が表示します。

・種別 登録方法をシングル登録またはグループ登録かを表示します。

: グループ登録されている場合に表示します。

[- □ : シングル登録されている場合に表示します。

・登録名称 設定されている登録名称を表示します。

重要 設定を行った後は、必ず"登録"ボタンをクリックしてください。

●送信先登録(Eメール)

"シングル登録"で登録するか"グループ登録"で登録するかを選択します。



"シングル登録"または"グループ登録"をクリックすると登録・編集画面が表示します。

●送信先登録[シングル]

個々の番号ごとの登録名称/送信先 E メールアドレスの登録編集を行います。



・登録番号

"送信先アドレスリスト"で選択した番号がここに表示されています。配信先登録テーブルの何番を登録・修正しているかを確認できるよう表示されているもので、変更等はできません。

・フリガナ

登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内(半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。

· 登録名称

登録名称を入力する欄です。ここで設定した名称は、送信先リスト(E メール)および本体操作部に表示されます。

- ※登録名称は全角8文字以内、半角16文字以内(半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。
- ・Eメールアドレス送信先のEメールアドレスを入力する欄です。
- 登録

"登録"ボタンをクリックすると、設定内容がスキャナ本体側に登録されます。 クリックしない場合、入力した内容は破棄されます。

- ・リセットボタン"リセット"ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。
- 登録削除ボタン

"登録削除"ボタンをクリックすると、表示されている送信先が削除されます。

- ●送信先登録[グループ登録] 送信先(Eメール)グループの登録編集をすることができます。
- 重要 送信先登録(Eメール)[シングル登録]を登録しないと、送信先登録(Eメール)[グループ登録]はできません。



グループに登録したい送信先を選んで、No. の横のチェックボックスをクリックしてください。グループの登録名称を入力して"登録"ボタンをクリックすると送信先グループに登録されます。

・フリガナ

登録名称のフリガナを16文字以内(半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。

· 登録名称

登録名称を入力する欄です。ここで設定した名称は、送信先(Eメール)登録テーブルおよび本体操作部に表示されます。

※登録名称は全角8文字以内、半角16文字以内(半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。

· 登録番号

"送信先リスト"で選択した番号がここに表示されています。送信先登録テーブルの何番を登録・修正しているかを確認できるように表示されているもので、変更等はできません。

登録ボタン

"登録"ボタンをクリックすると、設定内容がスキャナに反映されます。 クリックしないでページを移動した場合は、入力した情報は破棄されます。

- ・リセットボタン
 - "リセット"ボタンをクリックすると、各種設定を行った内容がリセットされます。
- 登録削除ボタン
 - "登録削除"ボタンをクリックすると、表示されている送信元(ユーザ)が削除されます。

第3章

付属ユーティリティ

付属ユーティリティのご紹介

Scanner File Utility

Scanner File Utility は、スキャナで読み込んだ画像イメージを PC 側で受信し、指定したフォルダに保存するユーティリティです。Scanner File Utility は、スキャナから受信した画像イメージをファイルとして保存します。

Address Editor

Address Editor は、スキャナのアドレス帳(共通アドレス帳)の登録、編集を行うためのツールです。管理者がアドレス帳のメンテナンスを行う場合に使用します。Address Editor に対応したスキャナが複数存在している場合は、それら全てのスキャナに同じ送信先リストを設定することなども容易に行えます。

アドレス帳 for Scanner

アドレス帳 for Scannerは、PCにインストールするアドレス帳です。これを使用すると、スキャナのユーザが自分専用の送信先リストを作成、利用することが可能になります。スキャナの操作部で「個人アドレス帳」を選択すると、そのときのユーザが利用できるアドレス帳 for Scannerが参照され、送信先の選択が行えます。

TWAIN Source

TWAIN Sourceは、TWAIN対応アプリケーションから操作を行い、スキャナで読み込んだ画像イメージをTWAIN対応アプリケーションに取り込むことを可能にするユーティリティです。取り込んだ画像は、TWAIN対応アプリケーションで保存したり、加工することができます。

付属ユーティリティのご紹介

DB Assistant

DB Assistant は、画像データに文書情報を追加させることで、PC 上からファイルの検索、または分類をより簡単に行うことができます。この機能には、スキャンした画像に文書情報としてキーワード追加する KM-DB アシスト機能と、CSV ファイルを作成するデータベースアシスト機能があります。特に、KM-DB アシスト機能は、PC 上にある画像保存先フォルダのインデックス項目をスキャナ操作部上に表示させることができます。

Scanner File Utility について

Scanner File Utility は、スキャナで読み込んだ画像イメージを PC 側で受信し、指定したフォルダに保存するユーティリティです。Scanner File Utility は、スキャナから受信した画像イメージを PC 上で保存します。Scanner File Utility のインストール後は PC 起動と同時にユーティリティも起動します。タスクバー上には、起動中を示すアイコンが表示され、スキャナからのデータを常時待ち受けます。

PC 側での操作は、任意の保存先フォルダやフォルダパスワードを事前に設定するだけです。あとはスキャナからの操作で指定したフォルダに画像データを保存することができます。

- ※Scanner File Utility を使用するためには、Address Editor、アドレス帳 for Scanner または Web ページ 機能を使って、事前にスキャナ本体に対し、送信先の PC と、保存先フォルダの情報を登録しておくことが必要です。
- ※ DB Assistant を使ってスキャンした画像に文書情報を追加する場合は、保存先 PC 上で Scanner File Utility を起動させ、KM-DB アシスト(画像に文書情報を追加)で送信するか、データベースアシスト(画像と文書情報として CSV ファイルの作成)で送信するか選択する必要があります。

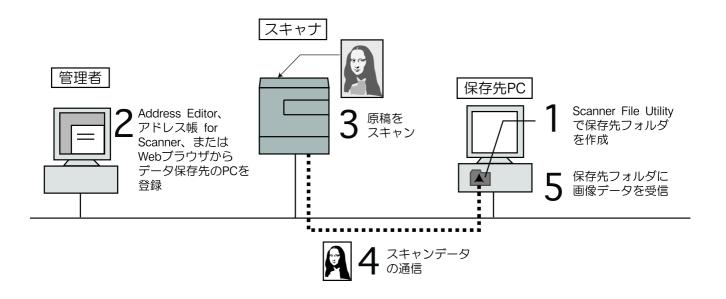
(1) 事前準備

Scanner File Utility を使う際は、まず下記に示す設定を行ってください。

- 1. Scanner File Utility を PC にインストールします。 (P3-7 参照)
- 2. Scanner File Utilityを起動し、画像ファイルの保存先フォルダを登録します。(P3-13参照)
- 3. Address Editor、アドレス帳 for Scanner または Web ブラウザからファイル保存先 PC の IP アドレス、登録名称と保存先番号を登録します。
 - ※保存先番号入力欄に Scanner File Utility で登録した保存先フォルダの No. (1~100) と同じ番号を入力します。

(2) 操作の流れ

Scanner File Utility を使って画面を PC に保存するまでの操作の流れは、下図のとおりです。



動作環境

・ハードウェアIBM PC/AT 互換機
 ・インターフェイス10BASE-T/100BASE-TX
 ・オペレーティングシステムWindows NT 4.0 (Service Pack 5以降), Windows 2000 (Service Pack 2以降),

Windows 98 (Second Edition), Windows 95 (OSR2), Windows Me, Windows XP

インストールとアンインストール

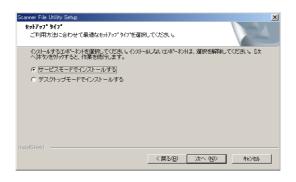
- (1) Scanner File Utility のインストール
 - 1. Kyocera Mita Software Library CD-ROM のメインメニューで"スキャナ"をクリックしてください。 次画面が表示されます。
 - ※メインメニュー表示までの操作については、P1-3 "CD-ROM の使いかた"を参照してください。



2. "Scanner File Utility" をクリックしてください。

サービスモードで

- 3. ウィザードの指示にしたがって、インストールの操作を行ってください。
 - ※ Windows2000 または WindowsXP の場合、セットアップタイプの選択画面が表示されます。以下のセットアップタイプを選択して次に進んでください。



※一度 Scanner File Utility をインストールした後、セットアップタイプをデスクトップモードから サービスモードに変更したい場合は、Windows の "アプリケーションの追加と削除"機能で"修 正"を行うとセットアップタイプを変更することができます。

※インストール中、以下のコンポーネントを追加する画面が表示されます。DB Assistant または、Network FAX を用いて、以下の機能を使用する場合は選択して次に進んでください。



KM-DB Link Handler KM-DB アシスト(スキャンした画像に文書情報"キーワード"を追加します。) KM-Network FAX

Receive HandlerNetwork FAX を使用する場合に追加します。詳細はファクスオプション付属の Network FAX オンラインマニュアルをご覧ください。

DataBase Link Handler データベースアシスト(スキャンした画像と共に文書情報をもった CSV ファイルを作成します。)

- ※文書情報を追加する方法については、Piv "スキャンする画像に文書情報を追加する"を参照してください。
- ※インストール完了後、PC の起動時に Scanner File Utility も起動し、バックグラウンドで常時動作します。Windows のタスクバーにはそれを示すアイコンが表示されます。

(2) Scanner File Utility のアンインストール

Windows の "アプリケーションの追加と削除"機能を使ってアンインストールを行ってください。

スタートダイアログ

Scanner File Utility は、インストール後自動的に起動しますが、このプログラムを終了させるときや、スキャナから受信した画像イメージの保存先フォルダの登録やフォルダパスワードの設定を行うときには、スタートダイアログを表示させてください。

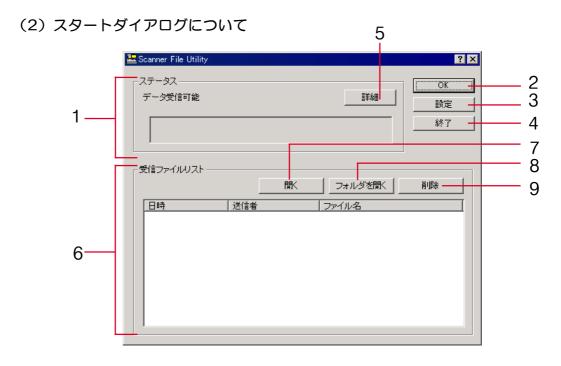
(1) スタートダイアログの表示方法

●プログラムが起動中のとき

タスクバーのアイコンをダブルクリックしてください。Scanner File Utility のスタートダイアログが表示されます。

●プログラムが終了しているとき

Windows タスクバーのスタートボタンをクリックし、表示されるメニューから "プログラム" \rightarrow "Scanner User Software" \rightarrow "Scanner File Utility" の順に選択してください。Windowsのタスクバーに Scanner File Utility の起動を示すアイコンが表示されます。その後は表示されたアイコンをダブルクリックしてください。スタートダイアログが表示されます。



- 2. OK ボタン....... クリックするとスタートダイアログを閉じます。

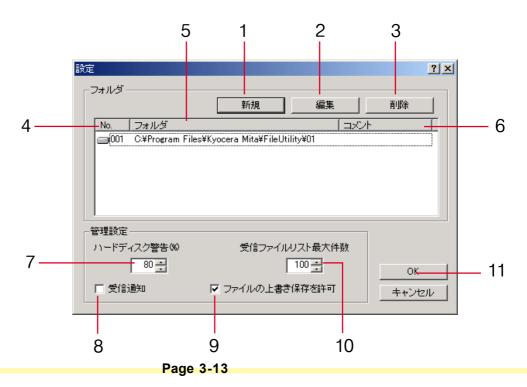
- - ※ Scanner File Utility をサービスモードでインストールした場合は、Scanner File Utility の [停止] を行うと、設定ボタンがクリックできるようになります。 (P3-27参照)

- 6. 受信ファイルリスト 受信したファイルのリストを表示します。
- 8. フォルダを開く 選択したリストの受信フォルダを開きます。

ファイル保存先フォルダ設定

(1) 設定ダイアログについて

保存先フォルダの設定および変更やパスワードを設定するときは、スタートダイアログの設定ボタンをクリックしてください。設定ダイアログが表示され、すでに設定されているフォルダを確認することができます。



- 2. 編集ボタン保存先 . 既存フォルダの設定を変更するときにクリックしてください。
- 4. No. 保存先フォルダのフォルダ番号です。
- 5. フォルダ 保存先フォルダを示しています。
- 7. ハードディスク
 - 警告(%)......ハードディスクドライブの使用量がここで入力する%に達したら、スタートダイアログのステータス欄に警告メッセージが表示されます。
 - ※Scanner File Utility の起動中は Windows のタスクバー上にアイコンが表示されますが、ハードディスクドライブの使用量がここで入力する警告 % に達したときは、アイコンの色が黄色に変わり、そのことを知らせます。



9.ファイルの上書き

10.受信ファイル

リスト最大件数 受信ファイルリストの最大表示件数を設定します。 (10件~100件)

11.**OK ボタン......** 保存先フォルダについての設定や変更などが終わったときは、このボタンを クリックしてください。スタートダイアログに戻ります。

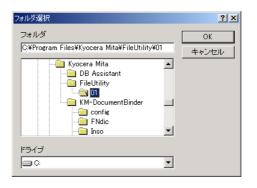
(2) 保存先フォルダの新規設定

保存先フォルダを新たに設定するときは、設定ダイアログの新規ボタンをクリックしてください。新規設 定用のフォルダ設定ダイアログが表示されます。



- 1. No. 欄に任意の数字(1-100)を入力してください。
 - ※ここで入力する数字は、保存先フォルダに対して番号付けを行うためのもので、保存先番号として 使用されます。スキャナ本体側では、Web ブラウザを使った設定の中で(保存先番号)、この保存 先番号を使って保存先フォルダの指定を行います。

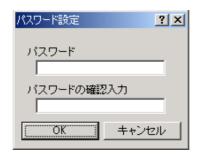
- 2. 保存先として新しく設定するフォルダを入力するために、フォルダ欄の右横の[...](参照)ボタンをクリックしてください。フォルダ選択ダイアログが表示されます。
 - ※フォルダ欄に直接フォルダ名を入力することもできます。直接入力する場合は、目的フォルダまでのパスも併せて入力してください。



フォルダ選択ダイアログには、ドライブに存在するフォルダがリスト表示されています。保存先フォルダとして指定するフォルダを選択し、OK ボタンをクリックしてください。

- ※事前にネットワークドライブを割り当てておくと、ネットワークドライブからフォルダを選択することができます。(Scanner File Utility をデスクトップモードでインストールした場合のみ)
- ※ FD や MO などの取り外し可能なメディアドライブから選択することはできません。

- 3. 指定するフォルダにセキュリティ用のパスワードを設定することができます。パスワードを設定する 場合は、"パスワード設定"ボタンをクリックしてください。表示された"パスワード設定"画面の "パスワード"欄に8桁以内の数字で入力してください。
 - ※このパスワードは不要であれば、特に設定する必要はありません。



- 4. "パスワード"欄にパスワードを入力したときは、入力に誤りがないかを確認するために、同じ入力内容を"パスワードの確認入力"欄にも入力してください。入力が完了したら OK ボタンをクリックしてください。"フォルダ設定"画面に戻ります。
 - ※フォルダパスワードを設定した場合、スキャナ本体側での操作時にこのパスワードの入力が必要となります。
- 5. 保存先フォルダについてのコメントを付加するときは、"コメント"欄に32文字以内(半角英数字半角カタカナ)または全角入力16文字以内で入力してください。

- 6. "システム連携プログラム"欄でシステム連携するプログラムを設定します。もし、スキャンする画像に以下の連携を行う場合は必ず選択してください。
 - ※この機能をを使用するためには、DB Assistant (P3-121 参照)、または Network FAX の設定が必要です。 (Network FAX 詳細はファクスオプション付属の Network FAX オンラインマニュアル参照)

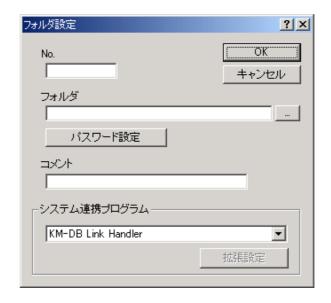


無し	スキャンデータをそのまま、指定フォルダに保存します。	
KM-DB Link Handler	. KM-DB アシスト機能(スキャンした画像に文書情報"キーワード"を付加します。)	
KM-Network FAX		
Receive Handler	. Network FAX を使用する場合に追加します。詳細はファクスオプション付属の Network FAX オンラインマニュアルをご覧ください。	
DataBase		
Link Handler	. データベースアシスト機能(スキャンした画像と共に文書情報をもった CSV ファイルを作成します。)	

7. 入力が完了したら OK ボタンをクリックしてください。入力した内容で保存先フォルダが設定されます。

(3) 既存保存先フォルダの設定変更

既に設定された保存先フォルダについての設定内容を変更するときは、リスト表示された中から該当する保存先を選択し、設定ダイアログの編集ボタンをクリックしてください。設定変更用のフォルダ設定ダイアログが表示されます。



1. No. 欄、フォルダ欄、コメント欄の内容を変更する場合の入力については、P3-16 "(2) 保存先フォルダの新規設定"を参照して操作を行ってください。

2. フォルダに設定されたセキュリティ用パスワードを変更するときは、"パスワード設定"ボタンをクリックしてください。"パスワード設定"画面が表示されます。"古いパスワード"欄に現在設定されているパスワードを入力してください。



- 3. "新しいパスワード"欄に新しくパスワードとして設定する数字を8桁以内で入力してください。
- 4. "新しいパスワード"欄の入力に誤りがないかを確認するために、同じ入力内容を"新しいパスワードの確認入力"欄にも入力してください。入力が完了したら、OK ボタンをクリックしてください。各パスワード欄の入力に誤りがなければ、"フォルダ設定"画面が表示されます。
- 5. 保存先フォルダについてのコメントを変更するときは、"コメント"欄に32文字以内(半角英数字半角カタカナ)または全角入力16文字以内で入力してください。

6. "システム連携プログラム"欄の内容を変更する場合は、P3-16"(2)保存先フォルダの新規設定"手順6を参照して操作を行ってください。

7.OK ボタンをクリックしてください。保存先フォルダについての設定内容が変更されます。

(4) 既存保存先フォルダの指定解除

既に設定された保存先フォルダとしての指定を解除するときは、次の操作を行ってください。

1. 設定ダイアログにおいて、フォルダ欄にリスト表示されている保存先フォルダの中から指定を解除したいフォルダをクリックで選択してください。選択されると反転表示されます。



2. 削除ボタンをクリックしてください。選択した保存先フォルダの指定が解除されます。

ファイル保存機能

操作手順の概要

Scanner File Utility を使ったスキャナからの画像イメージデータの受信方法は次のように行います。

- 1. 画像イメージデータを受信する PC 側で Scanner File Utility が起動中であることを確認してください。
 - ※Scanner File Utilityが起動していないときは、P3-10"(1) スタートダイアログの表示方法"を参照して起動させてください。
- 2. スキャナ本体に原稿をセットしてください。
- 3. スキャナ本体操作部から送信先を選択してください。
- 4. 保存先のフォルダにパスワードを設定しているときは、パスワードを入力してください。 ※パスワードを設定していないときは、この操作は不要です。
 - ※パスワードが正しくない場合は、エラーとなり次の操作に進めません。
- 5. スキャナ操作部のスタートキーを押してください。原稿が読み取られ、スキャナから PC 側にイメージデータの送信が行われます。PC 側では、受信した画像イメージデータを圧縮ファイルに変換し、指定した保存先フォルダに保存します。
 - ※指定のフォルダに保存されたファイルは、市販アプリケーションを使用して表示 / 編集 / メール送信などを行うことができます。

(2) ファイル名について

PC 側でデータファイルを保存する際、ファイル名(16 文字以内の文字列 + 拡張子)は事前に Web ブラウザからの設定で決めた内容が付加されます。特に設定していない場合は、一定のルールにしたがって自動的に付加されます。ファイル名が自動付加される際のルールは次の通りです。

ファイル名: ******nnnn __ mmm. 拡張子

- ・拡張子 拡張子は、Scanner File Utility が保存形式に応じて自動的に付加します。

注音

自動付加ルールによって番号が一巡したファイル名と同一のファイル名が同じフォルダに存在する場合で、設定ダイアログの"ファイルの上書き保存を許可"にチェックしている(P3-13参照)とき、先に存在するファイルは、後から保存されるファイルによって上書きされます。

(3) 画像データについて

●ファイル形式

TIFF 形式および PDF 形式**をサポートしています。 ※HyperGEAR,Inc. 製 PDF 変換ライブラリを使用。

●画像データサイズ

定形サイズ:A3、A4、A5、B4、B5、B6、11"×15"、Folio、11"×17"、 $8^{1}/_{2}$ "×11"、 $8^{1}/_{2}$ "×14"、 $5^{1}/_{2}$ "× $8^{1}/_{2}$ "

不定形サイズ:幅50~432mm(17")、50~420mm(17") (KM-C830/C830Dの場合)、高さ50~297mm(A4長)

※複数ページの画像データ受信時、ページごとに読み込みサイズを変更することはできません。

●解像度 (DPI)

200 × 200、300 × 300、400 × 400、600 × 600 の 4 通りの解像度をサポートしています。 ※複数ページの画像データ受信時、ページごとに解像度を変更することはできません。

(4) ハードディスク書込エラーが発生したとき

スキャナからの画像データを受信中にハードディスクの空き容量が不足したときは、それ以降の画像データの受信は中止され、それまでに受信した画像データは破棄されます。

注意 アイコンの色が黄色に変わったら注意!

ハードディスクドライブの使用量があらかじめ指定した警告 % に達したときは、Windows のタスクバー上に表示されているアイコンの色が黄色に変わり、そのことを知らせます。このときは、データを他のメディアに退避させるなどしてハードディスクの整理を行ってください。

サービスモードについて(Windows2000、XPのみ)

Scanner File Utility をサービスモードでインストールした場合、以下の設定が追加されます。

- 1. PC がログオフ状態でも、Scanner File Utility でスキャンデータの配信ができるようになります。
- 2. Scanner File Utility の設定を変更する場合は、Scanner File Utility で [停止] を選択します。再び、スキャンデータの配信を行うには、Scanner File Utility で [開始] を選択します。

Scanner File Utility の [停止] を行うには ...

タスクバーのアイコンを右クリックし、ドロップダウンリストを表示させ、[停止]を選択してください。アイコンに禁止マークが表示され、Scanner File Utility でスキャンデータの配信が禁止されます。(P3-12参照)



Scanner File Utility の [開始] を行うには ...

タスクバーのアイコンを右クリックし、ドロップダウンリストを表示させ、[開始]を選択してください。アイコンの禁止マークが解除され、Scanner File Utility でスキャンデータの配信が行えるようになります。



Address Editor について

Address Editor は、スキャナのアドレス帳(共通アドレス帳)の登録、編集をはじめ、ネットワーク設定、スキャナ機能の初期設定などを行うことができます。管理者がアドレス帳のメンテナンスなどをおこなう場合に使用します。Address Editor に対応したスキャナが複数存在している場合は、それら全てのスキャナに同じ送信先リストを設定することなども容易に行えます。

推奨動作環境

・ハードウェアIBM PC/AT 互換機

・インターフェイス10BASE-T/100BASE-TX

・オペレーティングシステム Windows NT 4.0 (Service Pack 5以降),

Windows 2000 (Service Pack 2以降),

Windows 98 (Second Edition), Windows 95 (OSR2),

Windows Me, Windows XP

インストールとアンインストール

- (1) Address Editor のインストール
 - 1. Kyocera Mita Software Library CD-ROM のメインメニューで"スキャナ"をクリックしてください。 次画面が表示されます。
 - ※メインメニュー表示までの操作については、P1-3 "CD-ROM の使いかた"を参照してください。



- 2. "Address Editor"をクリックして下さい。
- 3. ウィザードの指示にしたがって、インストールの操作を行ってください。

(2) Address Editor のアンインストール

Windows の "アプリケーションの追加と削除"機能を使ってアンインストールを行ってください。

Address Editor の起動

- 1. Address Editor を起動してください
 - ※Windows タスクバーのスタートボタンをクリックし、表示されるメニューから "プログラム" → "Scanner User Software" → "Address Editor" の順に選択すると、Address Editorが起動します。
- 2. Address Editor のメインメニュー画面が表示されます。



1. メニューバー	ツールバーやメニューエリアのボタン操作などはメニューバーの中から選択
	して実行できます。
2. ツールバー	編集データのスキャナへの書き込みなどの操作を簡単に行うためのボタンが
	並んでいます。
3. メニューエリア	スキャナ、Eメール送信などの設定したい項目の選択を行うことができま
	す。
4. 作業エリア	各設定ウインドウを表示して設定を行います。

編集データ選択画面

編集を行う Address Editor データを選択します。スキャナと接続を行い、直接スキャナの設定情報の編集・登録を行う方法とスキャナと接続を行わずに設定データの作成・編集を行う方法があります。スキャナと接続を行わずに作成・編集を行った設定データは、編集終了後スキャナと接続を行いスキャナに登録できます。

※Address Editor 起動時は"接続(スキャナアドレス設定)"を選択して表示されます。

(1) スキャナアドレス設定



1. スキャナアドレス........接続するスキャナのアドレス(ホスト名または IP アドレス)を入力します。 ドロップダウンリストには、過去に通信を行った最大 10 件までのスキャナア ドレスが表示します。

※ホスト名は32文字以内(半角英数字)で入力してください。

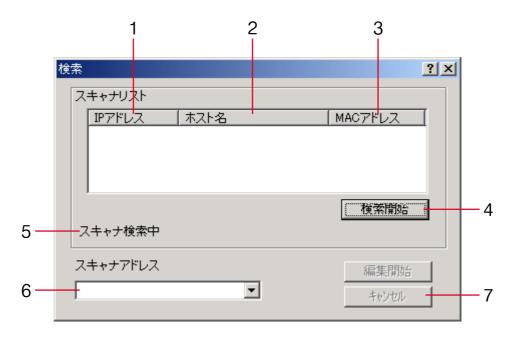
2. 検索ボタン接続するスキャナを検索します。DHCP サーバにより IP アドレスの設定を 行っている場合やスキャナの IP アドレスがわからない場合に使用してくださ		
() ₀		
※スキャナ検索の操作方法は、P3-36"スキャナ検索"を参照してください。		
3. 新規データスキャナと接続を行わず、新規に Address Editor データの作成・編集を行い		
ます。		
4. 保存データ すでに作成保存されている Address Editor データを開き、編集を行います。		
5. ・・・ボタンスキャナ設定データファイルを選択するダイアログを開き、データの読み出		
しを行います。		
6. 選択された Address Editor データファイル名を表示します。		
7. 編集開始ボタンAddress Editor データの編集を開始します。		
※スキャナアドレスが指定されている場合、スキャナとの接続を行いスキャ		
ナの設定データの取り出しを行います。		
※ "オフライン編集"で新担データを選択した場合は、初期値にて編集を開		

始します。

スキャナ検索

ネットワークに接続されているスキャナを検索します。

※スキャナ検索は、一定時間内に応答のあったスキャナのみリスト表示されます。



- 1. IP アドレススキャナに設定されている IP アドレスをリスト表示します。
- 2. ホスト名スキャナに設定されているホスト名をリスト表示します。

3. MACアドレススキャナの MAC アドレス(イーサネットアドレス)をリスト表示します。
4. 検索開始ボタンスキャナの検索を実行します。
5. 検索状況表示スキャナの検索状況/検索結果を表示します。
6. スキャナアドレス・検索結果のリストをクリックするとスキャナアドレスが表示されます。
・検索を実行せずに、ドロップダウンメニューから過去に通信を行ったス
キャナアドレスを選択できます。
・スキャナアドレスを直接入力できます。
7. 編集開始ボタン選択されたスキャナへの接続を行いスキャナの設定データの編集を開始します。
※使用中のスキャナを検索した場合は、そのホスト名を表示しません。

パスワードの入力(スキャナ接続時)

スキャナへの接続時、スキャナ設定や情報読み出しのため管理者のパスワードの入力を行う必要があります。 ※管理者パスワードは Web ブラウザ(P2-11 参照)、Address Editor 等で設定します。



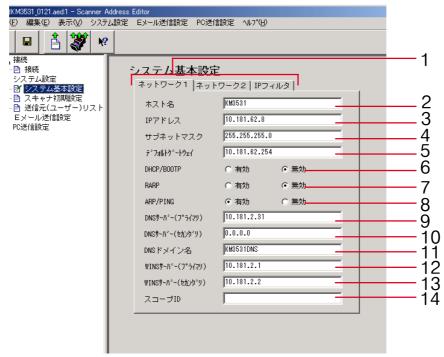
- 1. スキャナアドレス 接続先スキャナの IP アドレスを表示します。
- 2. パスワード接続先のスキャナに設定されている管理者のパスワードを入力してください。

システム設定

スキャナの基本設定を行います。

(1)システム基本設定

スキャナのIPアドレスなど、ネットワークへの接続に関する設定を行います。

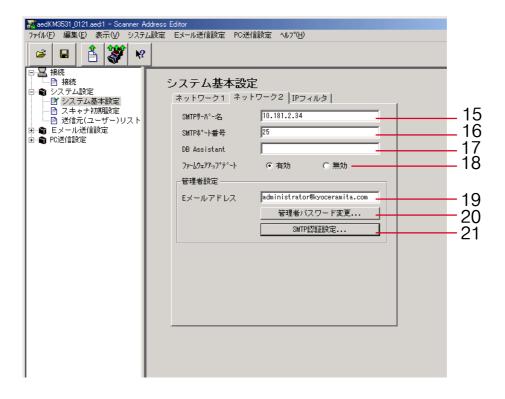


Page 3-39

1. ネットワーク 1/ネットワーク2 /IP フィルタ切替タブ		
	"ネットワーク 1"、"ネットワーク 2"、"IP フィルタ"設定の切替を行	
	います。	
「ネットワーク 1〕タブ選	択時	
	スキャナのホスト名を 32 文字以内(半角英数字)で入力してください。	
3. IP アドレス	…スキャナインタフェースカードの IP アドレスを "XXX.XXX.XXX.XXX" の形式	
	で入力してください。設定を保存すると、変更確認のダイアログが表示しま	
	す。IP アドレスの確認をしてください。	
4. サブネットマスク	スキャナインタフェースカードのサブネットマスクを"XXX.XXX.XXX.XXX"	
	の形式で入力してください。	
5. デフォルト		
ゲートウェイ	スキャナインタフェースカードのデフォルトゲートウェイを"XXX.XXX.XXX.	
	XXX"の形式で入力してください。	
	※他のネットワークまたはサブネットにパケットを転送するために使用します。	
6. DHCP/BOOTP	DHCPとBOOTPを"有効"と"無効"のどちらかにするかの設定を行いま	
	す。初期値は"有効"に設定されています。	
7. RARP		
	は"有効"に設定されています。	
8. ARP/PING	ARP/PINGを "有効" と "無効" のどちらかにするかの設定を行います。初期	
0 5010 +1 1/1	値は"有効"に設定されています。	
9. DNS サーバ		
(フライマリ)	…DNS サーバが設置された環境で、ホスト名を使ってデータ送信を行う場合に	
	は、この欄にプライマリの DNS サーバの IP アドレスを"XXX.XXX.	
10.DNS サーバ	XXX.XXX"の形式で入力してください。	
(ヒハンダリ)	…この欄にセカンダリの DNS サーバの IP アドレスを"XXX.XXX.XXX.XXX" の形式で入力してください。	
11 DNCドマインタ	- エス C入力してください。 ドメイン名を、32 文字以内(半角英数字)で入力してください。	
11. DNO A J =	…」ハーフロで、55人子以内(十円大数子) (八刀) (へんごり)。	

12. WINS サーバ	
(プライマリ)	コンピュータ名から IPアドレスへの解決に WINS (Windows Internet Name
	Service)を使用する場合には、この欄にプライマリの WINS サーバの IP アド
	レスを"XXX.XXX.XXX"の形式で入力してください。
13. WINS サーバ	
(セカンダリ)	この欄にセカンダリの WINS サーバの IP アドレスを"XXX.XXX.XXX.XXX" の
	形式で入力してください。
14. スコープ ID	

[ネットワーク2] タブ選択時



- 15. SMTP サーバ名 この欄に SMTP サーバの IP アドレスを "XXX.XXX.XXX.XXX" の形式で入力するか、ホスト名を 32 文字以内(半角英数字)で入力してください。
- 16. SMTP ポート番号 この欄に SMTP ポート番号を入力してください。初期設定のポート番号は 25 です。
- 18. ファームウェアアップデート ファームウェアのアップデートを許可する場合は、"有効"、許可しない場合は、"無効"を選択します。

[管理者設定]

- 19. E メールアドレス 管理者の E メールアドレスを入力してください。 ※E メールアドレスは 64 文字以内(半角英数字)で入力してください。
- 21. SMTP 認証 設定 ... ボタン 管理者用の SMTP 認証を設定します。(P3-45 参照)

パスワードの設定

管理者のパスワードを設定します。





- 1. 新しいパスワード........新規パスワードを入力します。
 - ※新規パスワードは15文字以内(半角英数字)で入力してください。
- 2. 新しいパスワードの
 - 確認入力 "新しいパスワード"で入力したパスワードを再度入力して下さい。パスワードの確認を行います。

SMTP 認証(管理者用)の設定

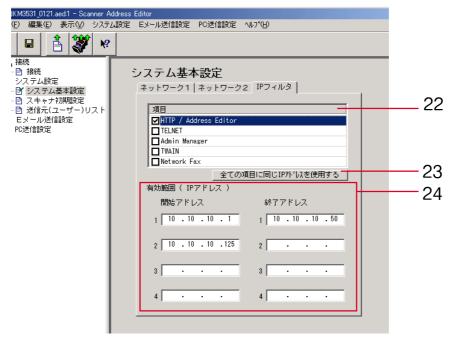
管理者用の SMTP 認証を設定します。



- 1. SMTP 認証を [有効] にします。
- 2. SMTP 認証に使用する[ログインアカウント名]を入力します。
- 3. パスワードを [パスワード] 欄に入力します。 ※パスワードは 31 文字以内(半角英数字)で入力してください。
- 4. "OK" ボタンをクリックします。

[IPフィルタ] タブ選択時

※IPフィルタの設定、詳細については P2-19 を参照してください。

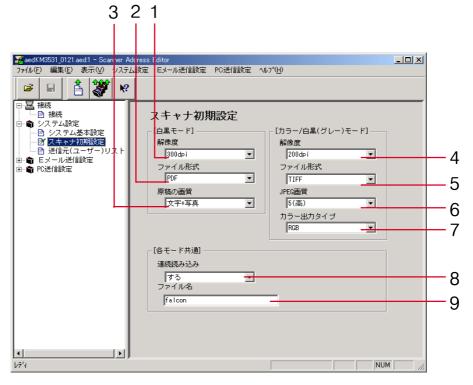


22.	埧目	. ノイルタリンクを行いたい項目にナエックしてくたさい。
23.	全ての項目に同じ	
	IPアドレスを	
	使用する	.22. でチェックを入れた全ての項目に 24. で設定した同じ IP アドレスを有効
		します。
24.	有効範囲	
	(IP アドレス)	有効にする IP アドレス範囲を4つまで入力できます。単一の IP アドレスを
		有効にする場合は、 [開始アドレス] にのみ入力します。

(2) スキャナ初期設定

スキャナ使用時の初期設定値の設定を行います。

※スキャナがモノクロ機の場合は"白黒モード"の項目で、カラー機の場合は"カラー/白黒(グレー) モード"の項目で設定してください。

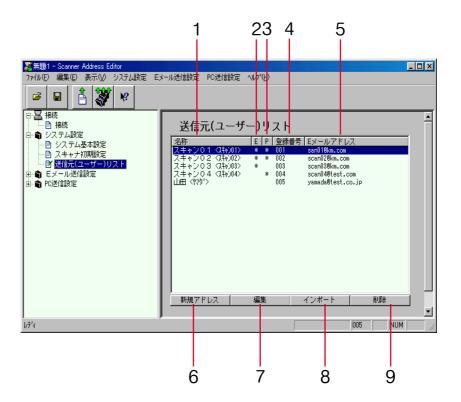


Page 3-48

<白黒モード>	
1. 解像度	原稿読み取り時の解像度を次の4つから設定します。
	200dpi/300dpi/400dpi/600dpi
2. ファイル形式	スキャン画像を保存する際のファイル形式を指定します。
	TIFF/PDF
3. 原稿の画質	スキャンする原稿の種類に合わせて、次の4つのモードを選択することがで
	きます。
	写真 / 文字 / 文字+写真 /OCR
<カラー / 白黒(グレー	・) モード>
1311302	200dpi/300dpi/400dpi/600dpi
5 ファイル形式	スキャン画像を保存する際のファイル形式を指定します。
0. 27 170/024	JPEG/TIFF/PDF
6 IPEG 両質	JPEG の画質を設定します。
0. 01 EQ 國員	※画質レベルを高く設定するとファイルサイズが大きくなります。
7 カニ 山カカノゴ	※画質してかど高く設定することディルサイスが入さくなりよす。 カラー出力の出力タイプの設定をします。
1. カノー山カタイノ	
	RGB/sRGB
	※sRGB を選択すると、sRGB 対応機器間で色再現空間を統一する事ができ
	ます。
<各モード共通>	
8. 連続読み込み	継続して原稿を読み込むか選択します。
- ,_,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	する/しない
9. ファイル名	スキャン画像保存時のファイル名称を設定します。
	※ファイル名は全角8文字以内、半角16文字以内(半角英数字、半角カタカ
	ナ)で入力してください。

(3) 送信元リスト

ネットワークスキャナ機能(Eメール送信、PC送信)を使用できる送信元(ユーザ)リストの設定を行います。

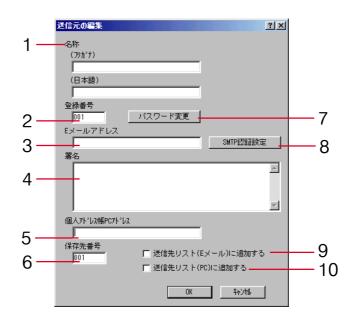


Page 3-50

1. 名称	送信元としてスキャナ本体の操作部上に表示する名称 < フリガナ > を表示 します。
2. E	送信先リスト(E メール)に関連付けされているアドレスが登録されていると、この欄に*が表示されます。編集の際には、送信先リスト(E メール)も同様に変更されます。
3 P	
0.1	の欄に*が表示されます。編集の際には、送信先リスト(PC)も同様に変更されます。
4. 登録番号	送信元データの登録番号を表示します。
	※登録番号はスキャナ本体の操作部にリスト表示されます。
	※登録できる件数は最大 40 件です。
5. Eメールアドレス	. 送信元のEメールアドレスを表示します。
6. 新規アドレスボタン	. 送信元データを新規に作成するときにクリックしてください。送信元の編集 ダイアログが表示されます。(P3-52参照)
7. 編集ボタン	
	アログが表示されます。(P3-52参照)
8. インボートボタン	. Address Editor ファイルと CSV ファイルから送信元データをインポートする
	ときにクリックしてください。インポートするためのダイアログが表示され
	ます。(P3-68参照)
9. 削除ボタン	選択中の送信元データを削除するときにクリックしてください。
	※送信元を複数選択して削除することもできます。

(4) 送信元アドレス登録(編集)

送信元アドレスの新規登録または編集を行います。



1. 名称

- (フリガナ)登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内(半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。
- (日本語)登録名称を入力する欄です。登録名称は全角8文字以内、半角16文字以内 (半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。

※設定できる登録番号は 001 ~ 040 です。 3. Eメールアドレス 送信元の Eメールアドレスを入力します。 4. 署名......Eメール送信時の署名データを入力します。 5. 個人アドレス帳 6. 保存先番号PC 送信での送信先 PC の保存先番号を設定します。 ※設定できる保存先番号は 001 ~ 100 です。 7. パスワード 8. SMTP 認証設定 各ユーザの SMTP 認証を設定します。 ※各ユーザに SMTP 認証を設定する場合は、事前にシステム基本設定で SMTP 認証を設定する必要があります。(P3-43参照) 9. 送信先リスト (E メールに追加する) ... この項目にチェックすると、送信元(ユーザ)のアドレスを E メール送信先 リストに追加します。 10. 送信先リスト (PC に追加する) この項目にチェックすると、送信元(ユーザ)のアドレスを PC 送信先リス

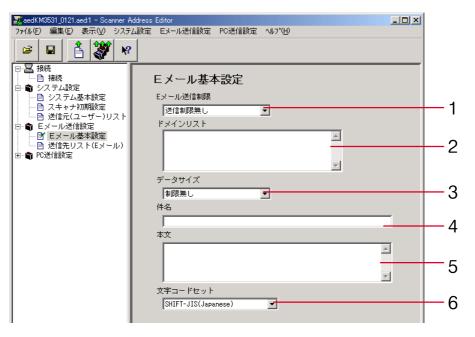
トに追加します。

Eメール送信設定

スキャンした画像をEメール送信でPCに送信する際に、基本設定や送信先の登録 / 編集などの設定をします。

(1) Eメール基本設定

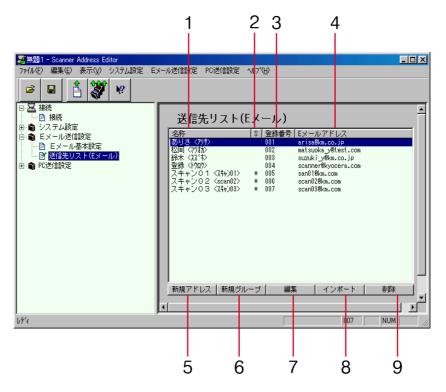
Eメール送信時に基本となる項目の設定を行います。



Page 3-54

(2) Eメール送信先リスト

Eメール送信時のEメール送信先リストの表示・編集を行います。



1. 名称	.E メール送信先としてスキャナ本体の操作部に表示する名称<フリガナ>を
	表示します。
2. S	.送信元(ユーザ)リストに関連付けされているアドレスが登録されている
	と、この欄に*が表示されます。編集の際には、送信元(ユーザ)リストも
	同時に変更されます。
3. 登録番号	.送信先データの登録番号を表示します。
	※登録できる登録番号は 001 ~ 100 です。
4. Eメールアドレス	.送信先のEメールアドレスを表示します。
5. 新規アドレスボタン	.送信先 E メールアドレスを新規に作成するときにクリックしてください。送
	信先の編集ダイアログが表示されます。(P3-58参照)
6. 新規グループボタン	.送信先 E メールグループを新規に作成するときにクリックしてください。送
	信先グループ登録ダイアログが表示されます。(P3-59参照)
7. 編集ボタン	.送信先の E メールアドレス / グループアドレスデータの編集をするときにク
	リックしてください。送信先の編集ダイアログが表示されます。
	(P3-58参照)
8. インポートボタン	.Address Editor、アドレス帳 for Scanner、Outlook からのエクスポートを
	使った csv 形式のアドレスデータをインポートするときにクリックしてくだ
	さい。インポートするためのダイアログが表示されます。(P3-68参照)
9. 削除ボタン	.送信先の E メールアドレス / グループアドレスデータを削除するときにク
	リックしてください。
	※送信先を複数選択して削除することもできます。

(3) 送信先の編集 (Eメール送信)

送信先Eメールアドレスの表示または編集を行います。



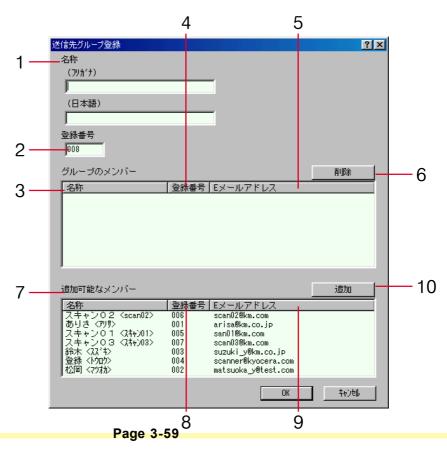
1	. :	匁	7	的	١

(フリガナ)登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内(半	羊角英数
字、半角カタカナ)で入力してください。	
(日本語)登録名称を入力する欄です。登録名称は全角8文字以内、半角16文	て字以内
(半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。	

- 2. 登録番号送信先データの登録番号を入力します。
- 3. Eメールアドレス 送信先の Eメールアドレスを入力します。

(4) 送信先グループ登録 / 編集

送信先Eメールグループアドレスの表示または編集を行います。



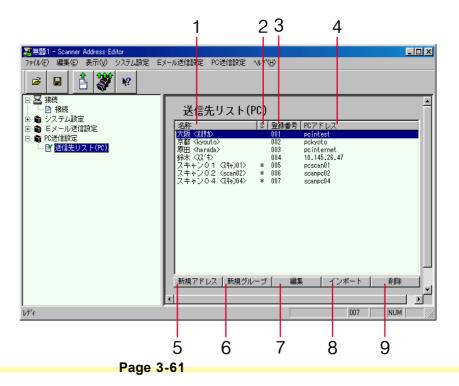
,	登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内(半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。 登録名称を入力する欄です。登録名称は全角 8 文字以内、半角 16 文字以内
	(半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。 送信先データの登録番号を入力します。
<グループのメンバー>	
	グループ内に登録されている E メールアドレスの名称<フリガナ>を表示します。
5. Eメールアドレス	グループ内に登録されている E メールアドレスの登録番号を表示します。グループ内に登録されている E メールアドレスを表示します。選択したアドレスをグループのメンバーから削除します。 ※削除されたアドレスは、"追加可能なメンバー"に追加されます。
<追加可能なメンバー>	
8. 登録番号 9. Eメールアドレス	登録されている E メールアドレスの名称<フリガナ>を表示します。登録されている E メールアドレスの登録番号を表示します。登録されている E メールアドレスを表示します。選択したアドレスをグループとして"グループのメンバー"に追加します。 ※追加されたアドレスは、"追加可能なメンバー"から削除されます。 ※"グループのメンバー"には、最大30件までアドレスを登録できます。

PC 送信設定

スキャンした画像を PC 送信で送信する際に、送信先の登録 / 編集などの設定をします。

(1) 送信先リスト

PC送信時の送信先リストの表示・編集を行います。



1. 名称	PC 送信先としてスキャナ本体の操作部に表示する名称<フリガナ>を表示し
	ます。
2. S	送信元(ユーザ)リストに関連付けされているアドレスが登録されている
	と、この欄に*が表示されます。編集の際には、送信元(ユーザ)リストも
	同時に変更されます。送信先としてスキャナ本体の操作部に表示する名称く
	フリガナ>を表示します。
3. 登録番号	送信先 PC データの登録番号を表示します。
	※登録できる登録番号は 001 ~ 100 です。
4. PC アドレス	送信先 PC のホスト名または IP アドレスを表示します。
5. 新規アドレスボタン	. 送信先 PC アドレスを新規に作成するときにクリックしてください。送信先
	の編集ダイアログが表示されます。(P3-63参照)
6. 新規グループボタン	. 送信先 PC グループを新規に作成するときにクリックしてください。送信先
	グループ登録ダイアログが表示されます。(P3-64参照)
7. 編集ボタン	送信先 PC アドレス / グループの編集をするときにクリックしてください。送
	信先の編集ダイアログが表示されます。(P3-63参照)
8. インポートボタン	. Address Editor、アドレス帳 for Scannerからアドレスデータをインポートす
	るときにクリックしてください。インポートするためのダイアログが表示さ
	れます。 (P3-68参照)
9. 削除ボタン	選択中の配信先 PC アドレス /PC グループデータを削除するときにクリック
	してください。
	※送信先を複数選択して削除することもできます。

(2) 送信先の編集 (PC 送信)

送信先 PC アドレスの表示または編集を行います。

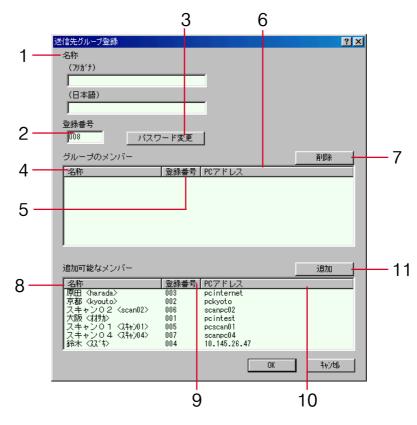


1.	名称					
	(フリガナ)	登録名称のフリ	リガナを入力す	る欄です。	フリガナは 16 文字	字以内(半角英数
		字、半角カタカ	コナ)で入力し	てください	0	
	(日本語)	登録名称を入力	する欄です。	登録名称は	全角8文字以内、	半角 16 文字以内
		(半角英数字、	半角カタカナ)で入力し	てください。	
2.	登録番号	送信先 PC の登	録番号を入力し	します。		
3.	PC アドレス	送信先 PC のホ	スト名または	IPアドレス	を入力します。	

4. 保存先番号保存先のフォルダ番号を表示します。

(3) 送信先グループ登録 / 編集

送信先 PC グループアドレスの表示または編集を行います。



Page 3-64

1. 名称 (フリガナ)	.登録名称のフリガナを入力する欄です。フリガナは 16 文字以内(半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。
	.登録名称を入力する欄です。登録名称は全角8文字以内、半角16文字以内 (半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。
	.送信先 PC の登録番号を入力します。 .PC グループアドレスのパスワード変更を行います。
<グループのメンバー>	.グループ内に登録されている送信先 PC アドレスの名称を表示します。
5. 登録番号	. グループ内に登録されているど信允 FC アドレスの登録番号を表示します。 . グループ内に登録されている送信先 PC アドレスの登録番号を表示します。 . グループ内に登録されている送信先 PC のアドレスを表示します。
	. フループ かに 登場されている と
<追加可能なメンバー>	
	. 登録されている送信先 PC アドレスの名称を表示します。
	.登録されている送信先 PC アドレスの登録番号を表示します。 .登録されている送信先 PC のアドレスを表示します。
	.選択したアドレスをグループのメンバーに追加します。
	※追加されたアドレスは、"追加可能なメンバー"から削除されます。
	※ "グループのメンバー"には、最大30件までアドレスを登録できます。

ツールバー

ツールバーには編集データのスキャナへの書き込みなどの操作を簡単におこなうためのボタンが並んでいます。



- 1. 開くボタンAddress Editor ファイルを指定して開きます。
- 2. 保存ボタン編集したデータをファイルに保存します。
- 3. データ送信ボタン........編集したページの設定データをスキャナに登録します。
- 4. 一括送信ボタン 編集したすべての設定データをスキャナに登録します。
- 5. ヘルプボタン......ヘルプの表示をします。

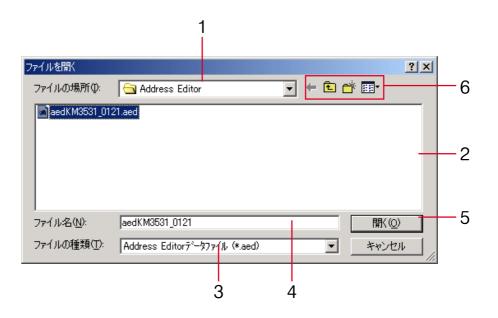
アドレスデータのインポート

Address Editor では、送信元リスト、送信先リスト(Eメール、PC)に Address Editor、アドレス帳 for Scanner、Microsoft 社の Outlook で作成しエクスポートされた csv 形式のアドレスデータをインポートすることができます。

(1) 送信元リスト、送信先リスト(E メール、PC)へ、アドレスデータのインポート アドレスデータを送信元リスト、送信先リスト(Eメール、PC)へインポートすることができます。

重要

- ・送信元リストでインポートすることができるデータは「Address Editor(* .aed)データ、Outlook (* .csv) データ」です。
- ・送信先リスト(Eメール)でインポートすることができるデータは「Address Editor(* .aed) データ、アドレス帳 for Scanner(* .dat)データ、Outlook(* .csv)データ」です。
- ・送信先リスト(PC)でインポートすることができるデータは「Address Editor(* .aed) データ、アドレス帳 for Scanner(* .dat)データ」です。



- 1. ファイルの場所......インポートしたいファイルが保存されているフォルダを指定します。
- 2. ファイルの一覧......指定したフォルダ内のファイルが一覧表示されます。
- 3. ファイルの種類インポートするデータのファイルの種類を設定します。
- 4. ファイル名選択されたファイル名が表示します。
- 5. 開くボタンインポートするデータファイルを開きます。

(2) フィールドの設定

csv ファイルを選択した場合、テキストフィールドを送信先リストの項目に対応付けることができます。



- 1. 名称
 - (フリガナ)Eメール送信先としてスキャナ本体の操作部に表示する名称のフリガナ。 (日本語)Eメール送信先としてスキャナ本体の操作部に表示する名称。
- 2. 名称フィールド......csv ファイルに記述された、名称に対応する項目名称を選択します。
- 3. Eメールアドレス 送信先リストの Eメールアドレス。
- 4. E メールアドレス帳用
 - フィールドcsv ファイルに記述された、Eメールアドレスに対応する項目名称を選択します。

(3) インポート内容の確認

インポートするデータの内容を確認し、リスト(送信元、送信先)に追加します。



Page 3-70

- 1. 選択したアドレス数インポートするためにリストから選択したエントリーの数を表示します。
- 2. 編集ボタン選択したエントリーの内容を編集します。
- 3. 送信元(ユーザ)リストに追加するボタン
 -リストから選択したエントリーを送信先リストに追加します。
- 4. 警告欄......インポートに問題のある内容を含むエントリーに警告記号を表示します。警告記号は以下の通りです。
 - ?: 名称文字数が制限を越えるときに表示します。編集により文字数を減らすと表示は消えます。
 - !: 名称に漢字など(2バイト文字)を含むときに表示します。編集により英数字に変更すると表示 は消えます。
 - !: Eメールアドレスの文字数が制限が越えているか Eメールアドレスとして使用できない文字が含まれているときに表示します。
 - ※警告欄が?の場合は、登録可能なデータへの自動変換を行い、送信先リスト(Eメール)への追加を行います。
 - ※警告欄が!の場合は、送信先リスト(Eメール)への追加を行いません。
 - ※送信先リストに同じ名称のデータが登録されていた場合には、インポート時に名称の変更を行った後、送信先リスト(Eメール)への追加を行います。
 - ※登録番号はインポート時に自動で作成されます。
 - ※Address Editor およびアドレス帳 for Scanner のグループデータはインポートすることができません。

バージョン情報

メニューバーの"ヘルプ"→"バージョン情報"を選択すると、バージョン情報画面が表示します。



アドレス帳 for Scanner について

アドレス帳 for Scanner は、スキャナで読み込んだ画像イメージをスキャナからの操作で E メール送信したり PC 送信するときに参照する送信先リストの登録・編集を行うユーティリティです。 アドレス帳 for Scanner のインストール後は PC 起動時と同時にユーティリティも起動します。タスクバー上には、起動中を示すアイコンが表示されます。

動作環境

Windows Me, Windows XP

インストールとアンインストール

- (1) アドレス帳 for Scanner のインストール
 - 1. Kyocera Mita Software Library CD-ROM のメインメニューで"スキャナ"をクリックしてください。 次画面が表示されます。
 - ※メインメニュー表示までの操作については、P1-3 "CD-ROM の使いかた"を参照してください。



2. "アドレス帳 for Scanner"をクリックしてください。

- 3. ウィザードの指示にしたがって、インストールの操作を行ってください。
 - ※PC の起動時にアドレス帳 for Scanner も起動し、バックグラウンドで常時動作します。Windows のタスクバーにはそれを示すアイコンが表示されます。

(2) アドレス帳 for Scanner のアンインストール

Windows の "アプリケーションの追加と削除"機能を使ってアンインストールを行ってください。

スタートダイアログ

アドレス帳 for Scannerは、インストール後自動的に起動しますが、このプログラムを終了させるときや、送信先リストの登録・編集などをを行うときには、スタートダイアログを表示させてください。

(1) スタートダイアログの表示方法

●プログラムが起動中のとき

タスクバーのアイコンをダブルクリックしてください。アドレス帳 for Scannerのスタートダイアログが表示されます。

●プログラムが終了しているとき

Windows タスクバーのスタートボタンをクリックし、表示されるメニューから "プログラム" \rightarrow "Scanner User Software" \rightarrow "アドレス帳 for Scanner" の順に選択してください。Windowsのタスク バーにアドレス帳 for Scannerの起動を示すアイコンが表示されます。その後は表示されたアイコンをダブルクリックしてください。スタートダイアログが表示されます。

(2) スタートダイアログについて

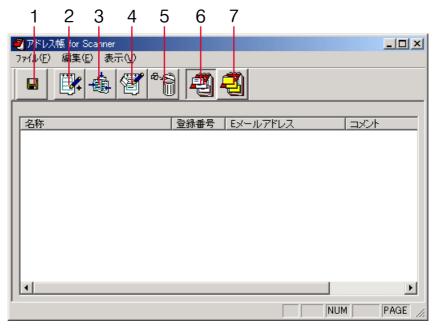


- 1. 接続中のスキャナ欄接続中のスキャナのリストを表示します。"スキャナ名"にはスキャナに登録されているホスト名と IP アドレスを表示します。"接続開始時間"にはスキャナと接続が開始された時間が表示されます。
- 2. OK ボタンクリックするとスタートダイアログを閉じます。
- 3. 設定ボタン送信先アドレスの登録や編集を行うときなどにクリックしてください。"アドレス帳 for Scanner"ダイアログが表示されます。
- 4. 終了ボタンクリックするとアドレス帳 for Scannerが終了します。

送信先リストの設定

(1) "アドレス帳 for Scanner" ダイアログについて

スキャン画像イメージを E メール送信または PC 送信するときの送信先アドレスの登録や編集を行うときは、スタートダイアログの"設定"ボタンをクリックしてください。"アドレス帳 for Scanner"ダイアログが表示され、すでに登録されている送信先アドレスを確認することができます。デフォルトでは E メール送信用の送信先リストが表示されます。

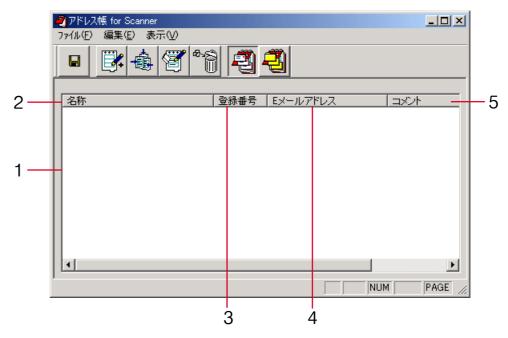


Page 3-79

1. 適用ボタン送信先リストの変更内容を保存するときにクリックしてください。
2. 新規アドレスボタンE メール送信または PC 送信での送信先アドレスをリストに登録するときにク
リックしてください。(P3-83, 91参照)
3. 新規グループボタンE メール送信または PC 送信での送信先グループを新規作成するときにクリッ
クしてください。(P3-85, 93参照)
4. 編集ボタン送信先リストに登録されている送信先アドレスまたは送信先グループの登録
内容を変更するときにクリックしてください。(P3-83, 85, 91, 93参照)
5. 削除ボタン送信先アドレスまたは送信先グループを送信先リストから削除するときにク
リックしてください。
6. E メール
アドレスボタンEメール送信用の送信先リストを表示するときにクリックしてください。
7.PCアドレスボタンPC 送信用の送信先リストを表示するときにクリックしてください。

(2) Eメール送信先リスト

"アドレス帳 for Scanner" ダイアログで"Eメール"ボタンをクリックしてください。Eメール送信時の送信先リストが表示されます。



- 1. 送信先リスト欄............送信先リストに登録されているEメール送信先を一覧表示します。
- 2. 名称送信先 (グループ) の名称を表示します。スキャナの操作パネルにも同じ名 称が表示されます。

2 242 74 1	送信先(グループ)の登録番号を表示します。登録番号は送信先を送信先リ
3. 豆球笛写	
	ストに登録した順に付けられます。
4. Eメールアドレス	送信先の E メールアドレスを表示します。
5. コメント	送信先についてのコメントを表示します。
	※2~5の項目名のバーをクリックすると、それぞれの内容がソートできま
	す。再度クリックすると逆順になります。

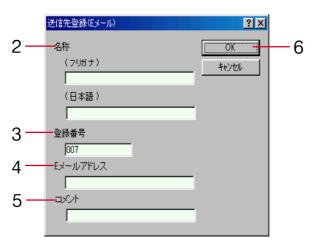
(3) Eメール送信先の登録と編集

Eメール送信先を送信先リストに登録したり、すでに登録されているEメール送信先の登録内容を編集するには"送信先登録(Eメール)"ダイアログで設定を行います。

登録手順

1. "アドレス帳 for Scanner" ダイアログで"新規アドレス"ボタンをクリックしてください。"送信 先登録(E メール)"ダイアログが表示されます。

E メール送信先の編集をする場合は、送信先リストから編集する E メール送信先を選択し、"編集" ボタンをクリックしてください。設定方法は登録、編集いずれの場合も同じです。



2. 登録する送信先のフリガナを 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナで入力してください。登録する 送信先名称(日本語)を 16 文字以内の半角英数字、半角カタカナ、または漢字 8 文字以内(全角)で 入力してください。

- 3. 送信先の登録時には登録する順に 001 \sim 100 までの番号が自動的に付けられます。登録番号を変更することもできます。
- 4. 送信先の E メールアドレスを 64 文字以内の半角英数字で入力してください。
- 5. コメントを入力してください。
- 6. "OK" ボタンをクリックしてください。入力した送信先が登録され、"アドレス帳 for Scanner" ダイアログに戻ります。
- 7. "アドレス帳 for Scanner" ダイアログで "適用" ボタンをクリックしてください。送信先リストの変更内容が保存されます。

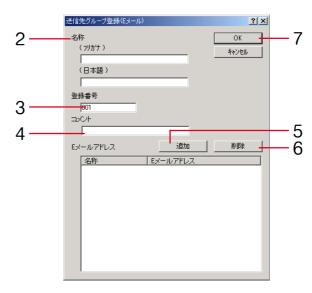
(4) Eメール送信先グループの登録と編集

E メール送信先グループを送信先リストに登録したり、すでに登録されている E メール送信先グループの登録内容を編集するには、"送信先グループ登録(E メール)"ダイアログで設定を行います。

登録手順

1. "アドレス帳 for Scanner" ダイアログで"新規グループ"ボタンをクリックしてください。"送信 先グループ登録(E メール)"ダイアログが表示されます。

E メール送信先グループの編集をする場合は、送信先リストから編集する E メール送信先グループを 選択し、"編集"ボタンをクリックしてください。設定方法は登録、編集いずれの場合も同じです。



Page 3-85

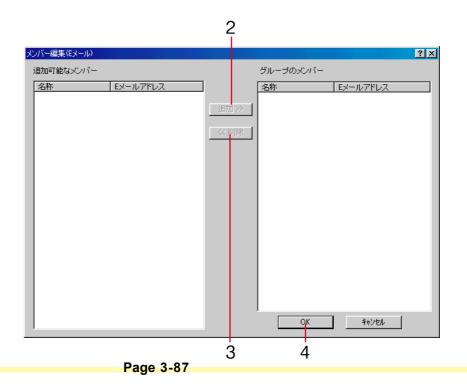
- 2. 登録する送信先のフリガナを16文字以内の半角英数字、半角カタカナで入力してください。登録する 送信先名称(日本語)を16文字以内の半角英数字、半角カタカナ、または漢字8文字以内(全角)で 入力してください。
- 3. 送信先グループの登録時には登録する順に 001 \sim 100 までの番号が自動的に付けられます。登録番号を変更することもできます。
- 4. コメントを入力してください。
- 5. グループに送信先を追加する場合は"追加"ボタンをクリックしてください。"メンバー編集(Eメール)"ダイアログが表示されます。(P3-87参照)
- 6. グループから送信先を削除する場合は、"Eメールアドレス"欄から削除したい送信先を選択して "削除"ボタンをクリックしてください。
- 7. "OK" ボタンをクリックしてください。入力した送信先グループが登録され、"アドレス帳 for Scanner" ダイアログに戻ります。
- 8. "アドレス帳 for Scanner" ダイアログで "適用" ボタンをクリックしてください。送信先リストの変更内容が保存されます。

(5) Eメール送信先グループへの送信先の追加

Eメール送信先グループへの送信先の追加は"メンバー編集(Eメール)"ダイアログで行います。

追加手順

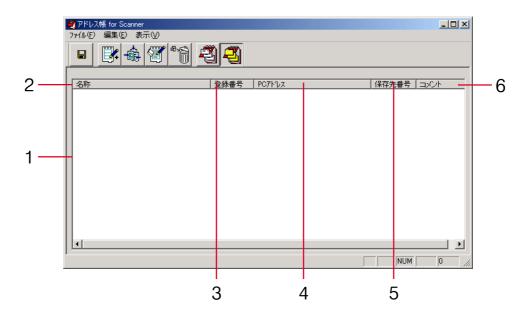
1. "送信先グループ登録(E メール)"ダイアログで"追加"ボタンをクリックしてください。"メンバー編集(E メール)"ダイアログが表示されます。



- 2. "追加可能なメンバー"欄から追加する送信先を選択して"追加"ボタンをクリックしてください。
- 3. グループから送信先を削除する場合は、"グループのメンバー"欄から削除したい送信先を選択して "削除"ボタンをクリックしてください。
- 4. "OK" ボタンをクリックしてください。"送信先グループ登録(Eメール)" ダイアログに戻ります。

(6) PC 送信先リスト

"アドレス帳 for Scanner"ダイアログで"PC送信"ボタンをクリックしてください。PC送信時の送信 先リストが表示されます。



- 1. 送信先リスト欄.......送信先リストに登録されている送信先 PC を一覧表示します。
- 2. 名称送信先 (グループ) の名称を表示します。スキャナの操作パネルにも同じ名 称が表示されます。

3. 登録番号	.送信先(グループ)の登録番号を表示します。登録番号は送信先を送信先リ
	ストに登録した順に付けられます。
4. PC アドレス	.送信先の PC アドレス(IP アドレスまたはホスト名)を表示します。
5. 保存先番号	.送信先 PC の保存フォルダ番号を表示します。
6. コメント	.送信先についてのコメントを表示します。

※2~6の項目名のバーをクリックすると、それぞれの内容がソートできます。再度クリックすると逆順になります。

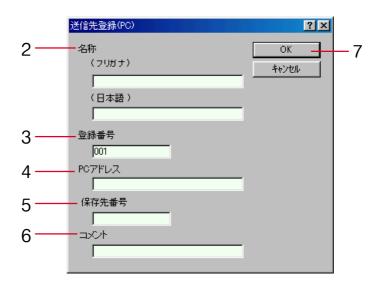
(7) 送信先 PC の登録と編集

送信先 PC を送信先リストに登録したり、すでに登録されている送信先 PC を編集するには、"送信先登録(PC)"ダイアログで設定を行います。

登録手順

1. "アドレス帳 for Scanner" ダイアログで"新規アドレス"ボタンをクリックしてください。"送信 先登録(PC)"ダイアログが表示されます。

送信先 PC の編集をする場合は、送信先リストから編集する送信先 PC を選択し、 "編集" ボタンをクリックしてください。設定方法は登録、編集いずれの場合も同じです。



- 2. 登録する送信先のフリガナを16文字以内の半角英数字、半角カタカナで入力してください。登録する 送信先名称(日本語)を16文字以内の半角英数字、半角カタカナ、または漢字8文字以内(全角)で 入力してください。
- 3. 送信先 PC の登録時には登録する順に 001 \sim 100 までの番号が自動的に付けられます。登録番号を変更することもできます。
- 4. 送信先 PC の PC アドレス(IP アドレスまたはホスト名)を 32 文字以内の半角英数字で入力してください。
- 5. 送信先 PC の保存フォルダ番号を 001 ~ 100 までの数字で入力してください。
- 6. コメントを入力してください。
- 7. "OK" ボタンをクリックしてください。入力した送信先 PC が登録され、"アドレス帳 for Scanner" ダイアログに戻ります。
- 8. "アドレス帳 for Scanner" ダイアログで"適用"ボタンをクリックしてください。送信先リストの変更内容が保存されます。

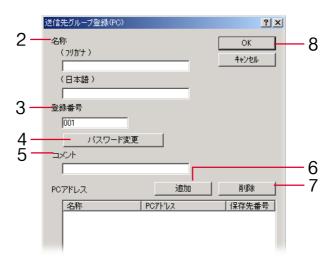
(8) 送信先 PC グループの登録と編集

送信先 PC グループを送信先リストに登録したり、すでに登録されている送信先 PC グループを編集するには、"送信先グループ登録(PC)"ダイアログで設定を行います。

登録手順

1. "アドレス帳 for Scanner" ダイアログで"新規グループ"ボタンをクリックして"送信先グループ登録(PC)"ダイアログを表示してください。

送信先 PC グループの編集をする場合は、送信先リストから編集する送信先 PC グループを選択し、 "編集" ボタンをクリックしてください。設定方法は登録、編集いずれの場合も同じです。



- 2. 登録する送信先のフリガナを16文字以内の半角英数字、半角カタカナで入力してください。登録する 送信先名称(日本語)を16文字以内の半角英数字、半角カタカナ、または漢字8文字以内(全角)で 入力してください。
- 3. 送信先の登録時には登録する順に $001\sim100$ までの番号が自動的に付けられます。登録番号を変更することもできます。
- 4. グループパスワードの設定または変更を行うときに"パスワード変更"ボタンをクリックしてください。"パスワード変更"ダイアログが表示されます。(P3-95 参照)
- 5. コメントを入力してください。
- 6. グループに送信先 PC を追加する場合は、"追加"ボタンをリックしてください。"メンバー編集 (PC)"ダイアログが表示されます。(P3-96参照)
- 7. グループから送信先 PC を削除する場合は、 "PC アドレス" 欄から削除したい送信先 PC を選択して "削除" ボタンをクリックしてください。
- 8. "OK" ボタンをクリックしてください。入力した送信先 PC グループが登録され、"アドレス帳 for Scanner" ダイアログに戻ります。
- 9. "アドレス帳 for Scanner" ダイアログで "適用" ボタンをクリックしてください。送信先リストの 変更内容が保存されます。

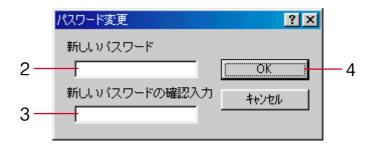
(9) 送信先 PC グループパスワードの登録と変更

送信先 PC グループパスワードを設定したり、すでに設定されているパスワードを変更するには"パスワード変更"ダイアログで設定を行います。

重要 送信先 PC グループのメンバーとなる各 PC のフォルダパスワードは、ここで設定するグループ パスワードと同じにしてください。

設定手順

1. "送信先グループ登録 (PC)" ダイアログで"パスワード変更"ボタンをクリックしてください。 "パスワード変更"ダイアログが表示されます。



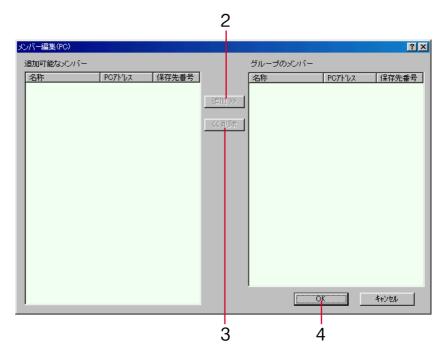
- 2. 新しいパスワードを8桁以内の数字で入力してください。
- 3. 新しいパスワードを再度確認入力してください。
- 4. "OK" ボタンをクリックしてください。"送信先グループ登録(PC)" ダイアログに戻ります。

(10) 送信先 PC グループへの送信先 PC の追加

送信先 PC グループへの送信先 PC の追加は、"メンバー編集(PC)" ダイアログで行います。

追加手順

1. "送信先グループ登録(PC)"で"追加"ボタンをクリックしてください。"メンバー編集(PC)" ダイアログが表示されます。



Page 3-96

- 2. "追加可能なメンバー"欄から追加する送信先 PC を選択して"追加"ボタンをクリックしてください。
- 3. グループから送信先 PC を削除する場合は、"グループのメンバー"欄から削除したい送信先 PC を選択して"削除"ボタンをクリックしてください。
- 4. "OK" ボタンをクリックしてください。 "送信先グループ登録(PC)" ダイアログに戻ります。

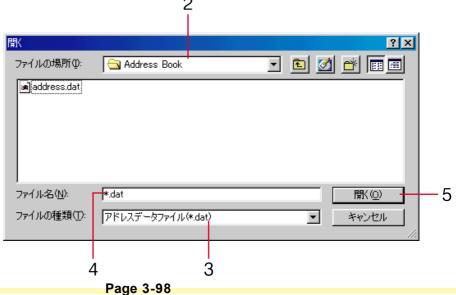
アドレスデータファイルのインポート

(1) アドレス帳 for Scanner のインポート

アドレス帳 for Scannerで作成し、保存されたアドレスデータを指定して開くと、そのアドレスデータを 使用することができます。

インポート手順

1. "アドレス帳 for Scanner" ダイアログでメニューバーの"ファイル"→"インポート"→"アドレ ス帳 for Scanner"を選択してください。"開く"ダイアログが表示されます。



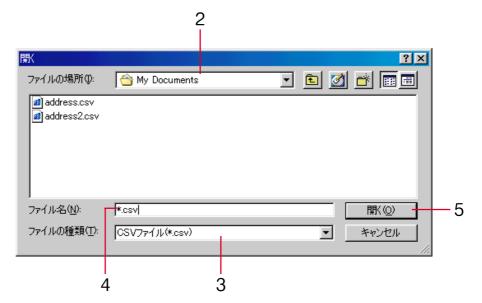
- 2. アドレスデータファイルが保存されているフォルダを選択してください。デフォルトでは"アドレス帳 for Scanner"フォルダが選択されています。
- 3. ファイルの種類を選択してください。dat ファイルのみ選択できます。
- 4. "ファイル名"欄にファイル名を入力してください。アドレスデータファイルの一覧からファイルを 選択することもできます。
- 5. "開く" ボタンをクリックしてください。選択したアドレスデータファイルのアドレス情報が"アドレス帳 for Scanner" ダイアログに表示されます。

(2) csv ファイルのインポート

他のメールソフトで作成し、csv 形式で保存されたアドレスデータを指定して開き、そのアドレスデータをアドレス帳 for Scannerで使用することができます。

インポート手順

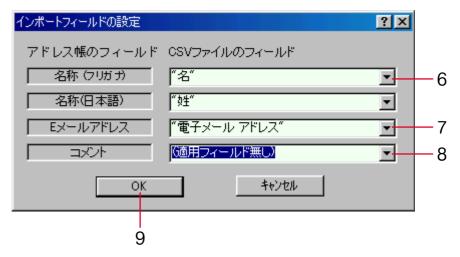
1. "アドレス帳 for Scanner" ダイアログで E メールボタンをクリックし、メニューバーの "ファイル" \rightarrow "インポート" \rightarrow "CSV ファイル" を選択してください。 "開く" ダイアログが表示されます。



- 2. csv 形式で保存されたアドレスデータファイルが保存されているフォルダを選択してください。
- 3. ファイルの種類を選択してください。csv ファイルのみ選択できます。
- 4. "ファイル名"欄にファイル名を入力してください。csv ファイルの一覧からファイルを選択することもできます。
- 5. "開く"ボタンをクリックしてください。"インポートフィールドの設定"ダイアログが表示されます。

●フィールドの対応付け

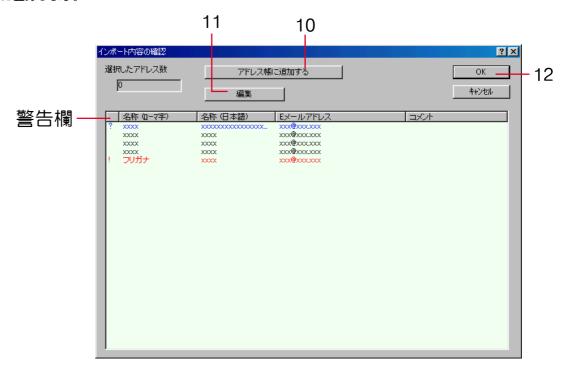
インポートする csv ファイルの項目をアドレス帳 for Scanner の E メール送信先リストの表示項目に対応 付けをします。



- 6. E メール送信先リストの"名称(フリガナ)"、"名称(日本語)"に表示させる項目を選択してください。
- 7. E メール送信先リストの"E メールアドレス"に表示させる項目を選択してください。
- 8. E メール送信先リストの"コメント"に表示させる項目を選択してください。
- 9. "OK" ボタンをクリックしてください。 "インポート内容の確認" ダイアログが表示されます。

●インポート内容の確認とアドレス帳 for Scanner への登録

インポートする csv ファイルの内容をリストで確認し、アドレス帳 for Scanner の E メール送信先リストに登録します。



- 10. インポートする E メールアドレスをリストから選択して "アドレス帳に追加する" ボタンをクリック してください。 "選択したアドレス数" 欄には選択したアドレスの数が表示されます。
- 11. リストから選択した E メールアドレスの登録内容を編集する場合は"編集"ボタンをクリックしてください。送信先登録(Eメール)ダイアログが表示されます。(P3-83 参照)
- 12. "OK" ボタンをクリックしてください。選択した E メールアドレスがアドレス帳 for Scanner の E メール送信先リストに登録されます。

注意 警告欄について

アドレス帳 for Scannerへのインポートに問題のある内容を含むために登録不可能なEメールアドレスに警告記号を表示します。その場合、"編集"ボタンをクリックしてください。送信先登録(Eメール)ダイアログが表示されます(P3-83参照)。Eメールアドレスの登録内容を登録可能な内容に編集してください。警告記号の表示が消えます。

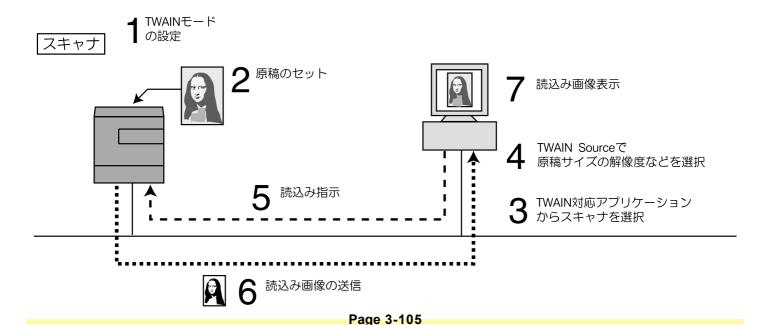
警告記号の表示

- ?: 名称が16文字を超えた場合に表示されます。
- !: 名称 < フリガナ > に漢字などの 2 バイトの文字を含む場合や E メールアドレスが 64 文字を超えた場合に表示されます。

TWAIN Source について

スキャナからの画像の取込みは、TWAIN対応アプリケーションから操作を行い、スキャナで読み込んだ画像イメージをTWAIN対応アプリケーションに取り込むことを可能にするユーティリティです。この章では、TWAIN対応の汎用アプリケーションを使用した画像取り込みについて説明しています。

重要 この方法で画像取り込みを行うためには、あらかじめ TWAIN Source を PC にインストールしておく必要があります。使用する PC が複数である場合は、各 PC に TWAIN Source をインストールしてください。



動作環境

・ハードウェアIBM PC/AT 互換機
 ・インターフェイス10BASE-T/100BASE-TX
 ・オペレーティングシステムWindows NT 4.0 (Service Pack 5以降), Windows 2000 (Service Pack 2以降),

Windows 98 (Second Edition), Windows 95 (OSR2), Windows Me, Windows XP

TWAIN Source のインストール

- 1. Kyocera Mita Software Library CD-ROM のメインメニューで"スキャナ"をクリックしてください。 次画面が表示されます。
 - ※メインメニュー表示までの操作については、P1-3 "CD-ROM の使いかた"を参照してください。



- 2. "TWAIN Source" をクリックしてください。
- 3. ご使用の機種を選択してください。
- 4. ウィザードの指示にしたがって、インストールの操作を行ってください。

TWAIN Source のアンインストール

Windows の "アプリケーションの追加と削除"機能を使ってアンインストールを行ってください。

画像データについて

対応画像データの仕様は下記のとおりです。

画像の取り込みかた

TWAIN 対応アプリケーションを使って本スキャナから画像を取り込む方法は大きく分けて2種類の方法があり、操作のながれは以下のようになります。作業状況にあわせて読み込みを行ってください。
※操作方法の詳細は、セットアップ編の使用説明書を参照してください。

(1) PC 側からスキャンをはじめる場合

- ①PCで、TWAIN対応アプリケーションから TWAIN Source を起動します。
- ②TWAIN Sourceで接続ボタンをクリックします。
 - ※スキャナ本体が起動中、または動作中の場合、接続できないことがあります。 この場合は、スキャナ本体でTWAINモードを設定してから、接続ボタンを押してください。
- ③「スキャン待ち」を設定してスキャンボタンをクリックします。
- ④スキャナ本体に原稿をセットし、スタートキーを押します。
- ⑤読み込んだ画像が PC に送られます。

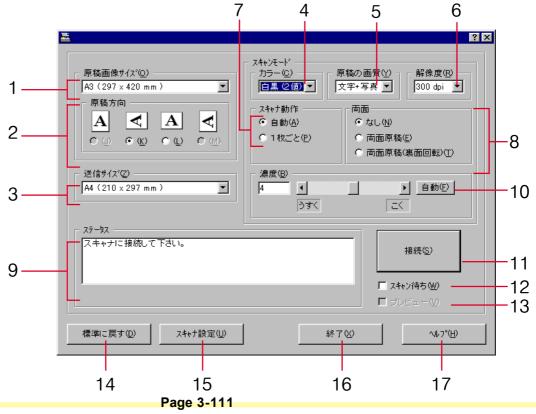
(2) 本体側からスキャンをはじめる場合

- ①スキャナ本体で TWAIN モードを設定します。
- ②原稿をセットします。
- ③PCで、TWAIN対応アプリケーションからTWAIN Sourceを起動します。
- ④TWAIN Sourceの接続ボタンをクリックします。
- ⑤スキャンボタンをクリックすると、スキャンを開始します。
- ⑥読み込んだ画像が PC に送られます。
- ※PC またはスキャナ本体で解像度や原稿サイズなど設定を変更することができます。PC での TWAIN Sourceの設定方法は、P3-111 "メインダイアログについて"を、スキャナ本体の操作部からの設定方法は、セットアップ編の使用説明書を参照してください。

メインダイアログについて

TWAIN Sourceメインダイアログで表示されている項目の内容は次のとおりです。

※機種によって画面は多少異なります。



- 原稿画像サイズ..................原稿読み込み時の定形サイズを選択してください。次のサイズが選択可能です。 自動, A3 (297×420mm), Computer Form (11"×15"), A4 (210×297mm), A5 (148×210mm), JIS-B4 (257×364mm), JIS-B5 (182×257mm), JIS-B6 (128×182mm), Letter (8.5"×11"), 不定形(選択すると不定形サイズ設定ダイアログが表示されます。)
- 3. 送信サイズ

(白黒 2 値のみ) 原稿画像サイズで定型サイズを選択したときに、スキャナから画像を受け取る際のサイズを定形サイズで選択できます。次のサイズが選択可能です。 A3 (297×420mm), A4 (210×297mm), A5 (148×210mm), JIS-B4 (257×364mm), JIS-B5 (182×257mm), JIS-B6 (128×182mm), Letter (8.5"×11")

4.カラー(カラー

スキャナのみ) 色の指定を行います。カラー / グレー / ACS/白黒(2値)の中から選択してくだい。

5.原稿種類

- 6. 解像度.......原稿読み取り時の解像度を600dpi/400dpi/300dpi/200dpiの中から選択してください。
- 7. スキャナ動作......スキャナ動作を設定してください。

自動: コンタクトガラス上に原稿がセットされている場合は、その原稿の読み込みを行った後、次の 読み込み指示待ちとなります。原稿送り装置に原稿がセットされている場合は原稿送り装置上 の原稿がなくなるまで読み込みを続けます。

1枚ごと:原稿送り装置に原稿がセットされている場合、1枚目の原稿だけをスキャンします。

8. 両面.......原稿送り装置に原稿の両面を読み込むかどうかの設定です。

なし:原稿の片面だけ読み込みます。 両面原稿:原稿の両面を読み込みます。

両面原稿(裏面回転):裏面の画像を180度回転した状態で両面を読み込みます。

- 9. ステータス欄......スキャナの状態が表示されます。

11.スキャン/ 接続ボタン	.スキャナとの接続が成功したときはスキャンボタンとなり、クリックするとスキャンが実行できます。また、スキャナと接続されていないときは接続ボタンとして表示され、再接続を促します。※高解像度でスキャンを行った場合、イメージの処理中にスキャナとの接続を解除することがあります。
12. "スキャン待ち" チェックボックス	.このチェックボックスにチェックマークを入れると、スキャナはスキャナ モードに入った状態で停止します。この状態のとき、原稿の読み込みを開始 させるには、スキャナ本体操作部のスタートキーを押す必要があります。
13. プレビュー(カラー スキャナのみ)	. このチェックボックスにチェックマークを入れると、画像として PC に取り込 む前に画像の確認や、色の調整が行えます。
14. "標準に戻す"ボタン	クリックすると、TWAIN Sourceでの全ての設定を初期値に戻します。
15. スキャナ設定ボタン	.クリックすると、スキャナ設定ダイアログを表示します。ここではスキャナアドレスの変更(P3-115参照)、単位(インチ、センチ)の切り替え、スキャン時のデータ圧縮の有無を設定できます(カラースキャナのみ)。
16. キャンセルボタン	.設定をキャンセルして、メインダイアログを閉じます。
17. ヘルプボタン	.クリックすると、ヘルプ画面を表示します。

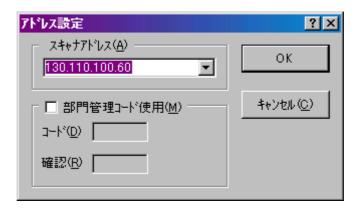
スキャナ IP アドレスの変更

TWAIN Source のインストール後にスキャナの IP アドレスの変更があった場合には、接続するスキャナの IP アドレスを変更することができます。下記の手順にしたがって操作を行ってください。

1. TWAIN Sourceのメインダイアログのスキャナ設定ボタンをクリックしてください。スキャナ設定ダイアログが表示されます。



2. スキャナアドレス欄に現在設定されているアドレスが表示されます。このアドレスを変更したいときは、編集ボタンをクリックしてください。アドレス設定ダイアログが表示されます。



- 3. 新しく設定したい IP アドレスを入力してください。
- 4. OK ボタンをクリックしてください。画面はスキャナ設定ダイアログに戻ります。
- 5. OK ボタンをクリックしてください。スキャナの IP アドレスが変更されます。

部門管理設定

機械本体のコピー機能で部門管理を設定している場合、機械を使用する際に部門コードを入力する必要があります。この部門管理設定時は、読み込み指示を出す PC とスキャナ本体との間で部門コードの照合が行われます。したがって PC 側では、TWAIN Source において、部門管理コード使用設定を行う必要があります。

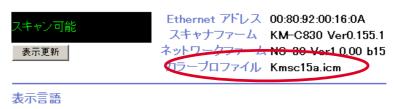
●登録方法

- 1. TWAIN Sourceのメインダイアログにおいて"スキャナ設定"ボタンをクリックしてください。スキャナ設定ダイアログが表示されます。
- 2. "編集"ボタンをクリックしてください。アドレス設定ダイアログが表示されます。
- 3. "部門管理コード使用"チェックボックスをクリックし、チェックマークを入れてください。
- 4. 常に同じコードで使用する場合、 コード欄に所定の部門コード(8 桁以下)を入力してください。 ※部門コードの有効桁数は販売地域によって異なります。詳しくは、複写機本体の使用説明書を参照 してください。
- 5. コード欄に入力した部門コードを確認欄にもう一度入力してください。
- 6. OK ボタンをクリックしてください。
- 7. 部門コードを設定していない場合は、スキャナ接続時にコード入力用画面が表示されます。そのとき に使用するコードを入力してください。

カラープロファイルについて

カラースキャナには、色調整の為にカラープロファイルを用意しています。

- ※カラープロファイルをデータに埋め込む方法については、TWAIN対応ソフトによって異なります。ご利用の各TWAIN対応ソフト付属マニュアルをよく読んでご使用ください。
- ●本機対応カラープロファイルの選択
 - 1.Webブラウザソフトを起動してください。
 - 2. アドレス入力欄にスキャナのIP アドレスか、ホスト名を入力して、ENTER キーをしてください。
 - 3.Webページの機能トップページが表示されます。メインフレーム内にカラープロファイルと記載している右手にこのスキャナに対応するカラープロファイルのファイル名が表示してます。



English 日本語

4. 次に本製品付属CD(スキャナライブラリ)内の、[ColorProfile]フォルダの中から手順 3. と同じファイル名のカラープロファイルを使用してください。

スキャナと接続できないとき

スキャナと正常に接続できない場合、次の要因が考えられますので、スキャナ本体の操作部などを確認の 後、再接続を試みてください。

- ●機械本体がコピー中であるなど、スキャナ機能以外のモードで動作中である。
- ●スキャナと接続する前に、原稿送り装置に原稿がセットされている。

TWAIN Source

画像最大サイズについて

画像サイズには、利用可能なメモリサイズにより、スキャンできない場合があります。

カラー, グレー	-選択時
----------	------

	200dpi	300dpi	400dpi	600dpi
A3	22MB	50MB	89MB	199MB ※
A4	11MB	25MB	44MB	100MB
11" × 17"	21MB	48MB	86MB	193MB ※
81/2" × 11"	11MB	24MB	43MB	96MB

[※] Windows95 ではスキャンできません。

白黒2値選択時

	200dpi	300dpi	400dpi	600dpi
A3	0.9MB	2.1MB	3.7MB	8.3MB
A4	0.5MB	1.0MB	1.8MB	4.1MB
11"×17"	0.9MB	2.0MB	3.6MB	8.0MB
81/2"×11"	0.4MB	1.0MB	1.8MB	4.0MB

DB Assistant について

DB Assistant は、スキャナで読み込んだ画像イメージを PC 上で、検索に利用可能なキーワード追加 (KM-DB アシスト)、また、文書情報として CSV ファイルの作成(データベースアシスト)の2つの機能を設定するユーティリティです。これらの機能はスキャンした画像を整理または、データベースなどで管理する場合に大変便利です。

DB Assistant のインストール後は PC 起動と同時に起動します。タスクバー上には起動中を示すアイコンが表示され、スキャナからのデータを常時待ちうけます。

KM-DB アシストスキャンした画像の文書情報にキーワードを追加します。画像形式が PDF だと [Acrobat Reader] の文書情報にある一般画面(下図)でキーワード入力を確認することができます。また、同梱されているバンドルソフト (KM-DocumentBinder)を使用して、PC上からキーワード検索をすることができます。大量のファイルの中から指定の画像を検索する場合に大変便利です。

一般	×	
¥¥E¥MFP¥SCAN0665_020.pdf		
ቃ ብትル① :	DBScan	
サブタイトル(<u>S</u>):		
作成者(A):	HyperGEAR,Inc.	
キーワード(<u>K</u>):	納品書, 高額 オレンジ, 01	
綴じ方(<u>B</u>):	左	
作成:	HyperGEAR.Inc.	

データベースアシスト スキャンした画像と共に、登録した文書情報を CSV ファイルとして作成します。 CSV ファイルは表計算ソフトやデータベースソフトなどを利用して活用することができます。

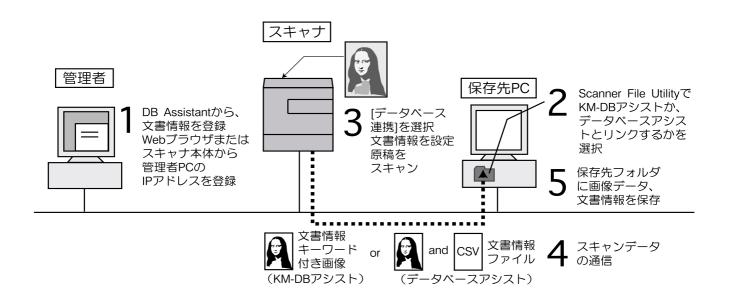
(1) 事前準備

DB Assistant を使う際は、まず下記に示す設定などを行ってください。

- 1. DB Assistant を PC にインストールします。 (P3-125 参照)
- DB Assistant を起動し、KM-DB アシスト、またはデータベースアシストを登録します。 (P3-127 参照)
- 3. 本体操作部、または Web ブラウザから DB Assistant をインストールした PC の IP アドレス、あるいはホスト名を登録します。
- 4. スキャンした画像の保存先 PC で、Scanner File Utility を起動し、保存先フォルダの設定から KM-DB アシストなら、"KM-DB Link Handler"、データベースアシストなら、"DataBase Link Handler"を選択します。(P3-19参照)

(2) 操作の流れ

DB Assistant を使ってスキャンした画像に文書情報を追加し、指定フォルダに保存するまでの操作の流れは、下図のとおりです。



動作環境

インストールとアンインストール

(1) DB Assistant のインストール

- 1. Kyocera Mita Software Library CD-ROM のメインメニューで "スキャナ" をクリックしてください。 次画面が表示されます。
 - ※メインメニュー表示までの操作については、P1-3 "CD-ROM の使いかた"を参照してください。



2. "DB Assistant" をクリックしてください。

- 3. ウィザードの指示にしたがって、インストールの操作を行ってください。
 - ※インストール中、以下のコンポーネントを追加する画面が表示されます。DB Assistant を用いて、以下の機能を使用する場合は選択してください。



KM-DB Assist Module KM-DB アシスト (スキャンした画像に文書情報 "キーワード"を追加します。)

DataBase Assist Module データベースアシスト(スキャンした画像と共に文書情報をもった CSV ファイルを作成します。)

- ※文書情報を追加する方法については、Piv "スキャンする画像に文書情報を追加する"を参照してください。
- ※インストール完了後、PCの起動時に DB Assistant も起動し、バックグラウンドで常時動作します。Windows のタスクバーにはそれを示すアイコンが表示されます。

(2) DB Assistant のアンインストール

Windows の "アプリケーションの追加と削除"機能を使ってアンインストールを行ってください。

操作画面について

DB Assistant は、インストール後自動的に起動しますが、KM-DB アシスト、データベースアシストの設定を行うときは、設定ダイアログを表示させてください。

(1) 設定ダイアログの表示方法

●プログラムが起動中のとき

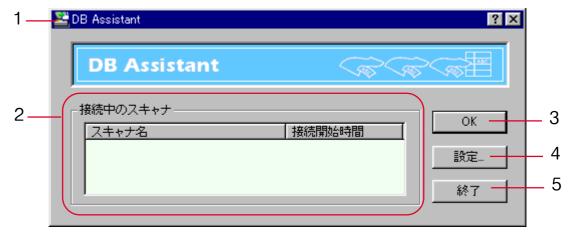
タスクバーのアイコンをダブルクリックしてください。DB Assistant のスタートダイアログが表示されます。次にそのスタートダイアログの"設定"をクリックすると DB Assistant の設定ダイアログが表示されます。

●プログラムが終了しているとき

Windows タスクバーのスタートボタンをクリックし、表示されるメニューから

"プログラム" \rightarrow "Scanner User Software" \rightarrow "DB Assistant" の順に選択してください。Windowsのタスクバーに DB Assistant の起動を示すアイコンが表示されます。その後は表示されたアイコンをダブルクリックしてください。スタートダイアログが表示されます。次にそのスタートダイアログの"設定"をクリックすると DB Assistant の設定ダイアログが表示されます。

(2) スタートダイアログについて



- 2. 接続中のスキャナ スキャナ名に接続中のスキャナで登録されているホスト名、または IP アドレスを表示します。接続開始時間には、スキャナと接続が開始された時間を表示します。
- 4.設定ボタン 設定ダイアログを表示します。
- 5. 終了ボタン DB Assistant が終了します。

(3) 設定ダイアログについて

KM-DB アシスト、データベースアシストの設定を行うときは、スタートダイアログの"設定"ボタンを クリックしてください。設定ダイアログが表示されます。



更新ボタン…………………設定を変更したときはこのボタンをクリックして設定を更新してください。 データを更新せず終了すると設定した項目は保存されません。

KM-DB アシスト機能の設定方法

DB Assistant での KM-DB アシスト機能(スキャンした画像に文書情報としてキーワードを追加)の設定、登録を中心に説明します。まず、DB Assistant の設定ダイアログを表示させ、以下の手順にしたがってください。

- ※データベースアシスト機能(スキャンした画像の文書情報として CSV ファイルを作成)の設定は、KM-DB アシスト機能の設定方法を参考に設定してください。
 - 1.KM-DB アシスト機能を設定するときは、設定ダイアログのメニューバーの "編集"をクリックし、 新規作成を選択します。次に表示されたメニューから "保存先 PC"を選択してください。機能名称の 設定画面が表示されます。
 - ※データベースアシスト機能を作成する場合は、"データベース"を選択してください。



2. 機能の名称を入力します。 "名称"欄に16文字以内(半角英数字、半角カタカナ)または、全角入力8文字以内で名称を入力してください。ここで入力した名称がスキャナ本体操作部上で表示されます。また、 "フリガナ"欄にも上記設定名称を入力します。ここでは16文字以内(半角英数字、半角カタカナ)で入力してください。ここで入力したフリガナはシステム内でこの設定をソート(名称で並び替え)するときに利用されます。

保存先PCの編集	? ×
名称	ОК
見積書	キャンセル
フリカナ	
গ্রস্থা	
_送信先PC	
POアドレス	
10.181.18.243	
保存先番号	
]1	

- 3. 送信先 PC(スキャンした画像を保存する PC)の IP アドレス、またはホスト名を"PC アドレス"欄に入力します。次に"保存先番号"欄に Scanner File Utility で設定した保存先番号を入力します。
 - ※保存先番号についてはP3-16 "Scanner File Utility (2) 保存先フォルダの新規作成"を参照してください。
 - ※手順2、3で設定する項目は全て入力しない限り登録できません。
- 4. 設定後に "OK" ボタンをクリックすると、KM-DB アシスト機能設定項目が作成されます。

5. スキャン初期設定を変更します。ここでどのように画像をスキャンするかの初期設定項目をある程度 設定しておくことができます。作成された"スキャン初期設定"をダブルクリック(または右クリッ クして現れたメニューの"設定"を選択)します。"スキャン初期設定"画面が表示されます。



- 6. "スキャン初期設定"画面からお好みの機能を選択し、"OK"を押すと設定が保存され設定ダイアログに戻ります。
 - ※設定項目詳細は、P1-8 "スキャナ機能(本体)を使いこなす"を参照してください。
 - ※このスキャン初期設定は、後で本体操作部から変更することができます。



※設定ダイアログで"スキャナ初期設定"を選択し、右クリックすると"設定"、 "登録→デフォルト"、"デフォルトに戻す"のメニューが現れます。



7. 作成された "アクセス制御設定" をダブルクリック(または右クリックして現れたメニューの "設定"を選択)します。 "アクセス制御設定"画面が表示されます。ここでは、現在登録している 機能を、使用するユーザによってアクセス制限させることができます。

アクセス制限設定	? ×
アクセス制限	ОК
	キャンセル
\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	
、送信元(ユーザー)リスト	— ·**
"	適用

制限なし制限なしでアクセスできます。

送信元 (ユーザ)

名称により制限する アクセスを許可するユーザを設定します。選択したユーザ以外はこの設定に アクセスできません。スキャナで登録している送信元ユーザリストの中から 使用許可するユーザを選択してください。設定方法詳細は、

P3-138 "補足"送信元(ユーザ)名称により制限する"の設定方法"を参照してください。

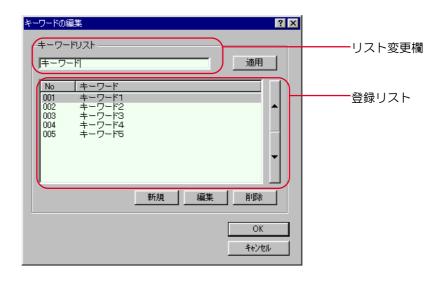
※データベースアシスト機能では上記以外にパスワードでの制限をかけることができます。

- 8. "文書情報"を設定します。ここで設定した項目が、スキャンした画像の文書情報(キーワード)として設定できます。作成された"文書情報"左の"+"をクリックしてください。"キーワード"と"作成者"が表示されます。
 - ※スキャンした画像に文書情報として、"キーワード"、"作成者"を設定すると、本製品バンドル ソフト(KM-DocumentBinder)のキーワード検索機能を使用して、画像の検索をかけることができ ます。

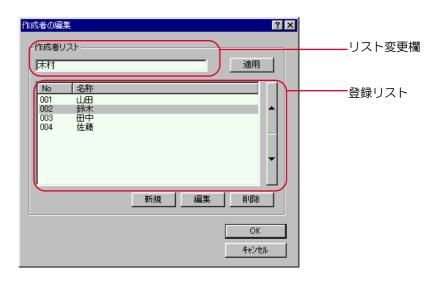


9. "キーワード"を設定します。 "キーワード"をダブルクリック(または右クリックして"編集"を クリック)してください。 "キーワードの編集"画面が表示されます。

- 10. リスト変更欄にキーワードを入力します。32 文字以内(半角英数字 半角カタカナ)または全角入力 16 文字以内で入力してください。 "適用"ボタンをクリックする(または Enter キーを押す)と登録 リスト欄にキーワードが登録されます。入力したキーワードを変更したい場合は、変更したいキーワードを選択(反転表示)し、 "編集"ボタンをクリックしてください。再び、リスト変更欄に選択 したキーワードが表示され、修正することができます。編集が終了したら、 "OK"ボタンをクリック してください。キーワードが設定され、設定ダイアログに戻ります。
 - ※"キーワード"は登録リスト内に最大100個登録できます。
 - ※登録リスト内のキーワードを選択(反転表示)させ、"▲"、"▼"をクリックするとリストの順番を入れ替えることができます。



- 11.作成者を設定します。"作成者"をダブルクリック(または右クリックして"編集"を選択)してください。"作成者の編集"画面が表示されます。リスト変更欄に作成者を入力します。32文字以内(半角英数字 半角カタカナ)または全角入力16文字以内で入力してください。以下、P3-144の"キーワードの編集"と同様に設定してください。
 - ※バンドルソフト "KM-DocumentBinder"を使用し、この"作成者"で検索をかける場合は、キーワードの検索項目で検索してください。
 - ※ "作成者"は登録リスト内に最大100個登録できます。
 - ※登録リスト内の作成者を選択(反転表示)させ、"▲"、"▼"をクリックするとリストの順番を入れ替えることができます。



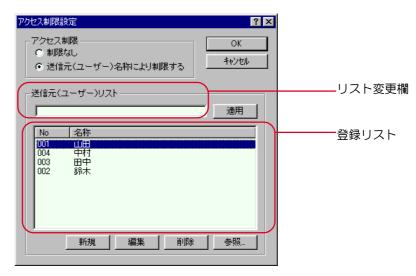
以上で DB Assistant 上での KM-DB アシスト機能(スキャンした画像に文書情報を追加する)の設定は終了です。

Page 3-137

補足 "送信元(ユーザ) 名称により制限する"の設定方法

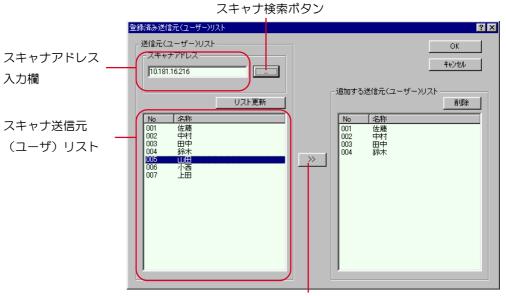
P3-134 "KM-DB アシスト機能の設定方法"、手順 7 の "送信元(ユーザ)名により制限する"の設定方法を説明します。

1. 送信元 (ユーザ) リスト変更欄にアクセス許可するユーザ名を入力します。16文字以内(半角英数字半角カタカナ) または全角入力8文字以内で入力してください。 "適用"ボタンをクリックする (または Enter キーを押す) と登録リスト欄に名称が登録されます。入力したユーザ名を変更したい 場合は、変更したいユーザ名を選択(反転表示)し、 "編集"ボタンをクリックしてください。再び、リスト変更欄に選択したユーザ名が表示され、修正することができます。編集が終了したら、 "OK"ボタンをクリックしてください。ユーザ名が設定され、設定ダイアログに戻ります。



Page 3-138

2. スキャナにあらかじめ登録された送信元(ユーザ)を確認するには、"参照…"ボタンをクリックしてください。"登録済み送信元(ユーザ)リスト"画面が表示されます。



追加ボタン

"スキャナアドレス"欄に接続するスキャナのIP アドレスまたは、ホスト名を入力します。 "リスト更新"ボタンをクリックすると、スキャナの送信元(ユーザ)として登録されているリストを表示します。その中から追加したい送信者を選び、追加ボタンをクリックしてください。画面右の"追加する送信元(ユーザ)リスト"に表示されます。ここで"OK"キーをクリックすると追加した送信元(ユーザ)はアクセス可能となり、"アクセス制御設定"画面に戻ります。

4. 現在、ネットワーク上に接続されているスキャナで登録している送信元(ユーザ)を確認したいときは、"登録済み送信元(ユーザ)リスト"画面の"スキャナ検索"ボタンをクリックしてください。 "スキャナ検索"画面が表示されます。



- 5. "検索開始"ボタンをクリックしてください。ネットワーク上に接続されているスキャナのIPアドレスまたはホスト名とMACアドレスをそれぞれ表示します。そのリスト中から選択したい送信元(ユーザ)を登録しているスキャナのアドレスを選び(反転表示させ)ます。選択したスキャナのIPアドレス、またはホスト名が"スキャナアドレス"欄に表示されたら、"OK"キーをクリック(または Enter キーを押す)してください。再び"登録済み送信元(ユーザ)リスト"画面に戻り、選択したスキャナのアドレスがスキャナアドレス入力欄に表示されます。スキャナ送信元(ユーザ)リストにそのスキャナで登録されている送信元(ユーザ)が表示されます。
- 6. "リスト更新"ボタンをクリックしてください。スキャナ送信元(ユーザ)リストに、手順5で選択したスキャナで登録されている送信元(ユーザ)を表示します。これでご指定のスキャナで設定している送信元(ユーザ)を確認することができます。

補足

送信履歴に表示されるエラーコードとその処置方法は以下の通りです。

送信履歴はスキャナ本体の操作部で確認することができます。詳細はセットアップ編の使用説明書を参照してください。

エラー コード	詳細内容	処置方法
E001	送信中にユーザがキャンセルを行った。	
E010	データ送信中に送信先 PC が認識できなくなり ました(E011 以後のエラーで分類できないエ ラーが発生しています)。または、アドレス 帳 for Scanner(個人アドレス帳)を起動して いる PC が認識できなくなった。	・ネットワークケーブルが正しく接続されている かなど回線に異常が無いか確認してください。・送信先 PC が正常に起動しているか確認してく ださい。
E011	画像データの送信でデータ自体に問題があり 送信が中止されました。	再度操作をやり直してください。
E012	スキャナ本体が画像送信時にアドレス帳 for Scanner (個人アドレス帳) のデータにアクセ スした際、回線異常が発生したためにアクセ スできませんでした。	アドレス帳 for Scanner(個人アドレス帳)を起動 している PC が正常に接続されているかを確認し てください。
E020	スキャナ本体が E-Mail 送信を開始する際に、 SMTP サーバが認識できなくなりました。	ネットワークケーブルが正しく接続されているかなど回線に異常が無いか確認してください。その他の場合は SMTP サーバが正しく起動しているか、システム管理者等に確認してください。

エラー コード	詳細内容	処置方法
E021	E-Mail 送信先が送信先制限で制限を受けているか、送信先許可で許可されていない。	・送信制限ドメインを確認し、正しく設定してください。 ・E-Mail 送信先のアドレスが正しく入力されているか確認してください。
E022	SMTP サーバが認識できない E-Mail アドレス が含まれています。	E-Mail 送信先のアドレスが正しく入力されている か確認してください。
E023	SMTP サーバが正しく動作していない。	SMTP サーバが正しく起動しているか、システム 管理者等に確認してください。
E024	SMTP 認証エラーが発生しました。	SMTP 認証で使用するユーザアカウントとパス ワードが正しく設定されているか、システム管理 者等に確認してください。
E030	送信先 PC が認識できなくなりました。 Scanner File Utility が起動していない、または すでに他のスキャナと接続している。	・送信先 PC で Scanner File Utility が正しく起動 しているか、または別のスキャナと接続してい ないか確認してください。 ・ネットワークケーブルが正しく接続されている かなど回線に異常が無いか確認してください。
E031	スキャナ本体が画像送信を開始する際に、設 定されているパスワードが送信先 PC と一致し ませんでした。	送信先 PC のパスワードを確認してください。
E032	PC 送信時に送信先 PC のハードディスクが制限容量を越えました。	送信先 PC で使用しているハードディスクの空き 容量を増やしてから、再度送信してください。

エラー コード	詳細内容	処置方法
E033	Scanner File Utility のバージョンが異なっています。	Scanner File Utility のパージョンを確認してください。
E034	Scanner File Utility が他のスキャナと接続中の ため、送信できませんでした。	他のスキャナとの接続が解除された後、PC 送信を 開始してください。
E035	グループ送信時に Scanner File Utility のフォルダ番号が一致しませんでした。送信操作中に設定が変更されました。	Scanner File Utilityの設定を確認してください。
E036	読み込んだ画像データを圧縮する際、圧縮後 のデータがメモリ容量をオーバーしました。	以下の方法などを行って、データ容量を減らしてもう一度送信してください。 ・解像度を下げてください。 ・画質を OCR に設定してください。 ・一度に読み込む原稿枚数を減らしてください。
E039	PC 送信中に PC から受信したコマンドが正常 なコマンドでない。送信先 PC に予期しないト ラブルが発生しています。	 ・送信先 PC の Scanner File Utility が正常に起動しているかを確認してください。 ・送信先 PC に Scanner File Utility 以外のネットワークを受信するプログラムが起動していないか確認してください。 ・送信先 PC でトラブルが発生している場合は、トラブルを解消してください。

エラー コード	詳細内容	処置方法
E059	PC から受信したコマンドが正常なコマンドでない。アドレス帳 for Scanner (個人アドレス帳) を起動している PC でトラブルが発生しています。	 ・送信先 PC のアドレス帳 for Scanner (個人アドレス帳) が正常に起動しているか確認してください。 ・送信先 PC にアドレス帳 for Scanner (個人アドレス帳) 以外のネットワークを受信するプログラムが起動していないか確認してください。 ・送信先 PC でトラブルが発生している場合は、トラブルを解消してください。
E061	E-Mail 送信、PC 送信で送信先にグループを選択 していたときに、そのグループのメンバー(構 成員)に何らかのトラブルが発生しました。	グループのメンバー(構成員)の PC を確認し、 トラブルが発生している場合は、トラブルを解消 してください。
E101	送信先を複数選択しているときに、エラーが 発生しました。	個別のエラーを確認し、エラーを解消してください。